

国語

三上

わかば

国語

三上

わかば

文部科学省検定済教科書 38 光村 国語 313 小学校国語科用



ISBN978-4-8138-0388-1
C4381 Y00000E



光村図書

光村図書

光村図書

保護者の皆様へ
この教科書は、これからの社会を生きる子どもたちが、言葉に出会う喜びや、人とつながる楽しさを実感しながら、確かな「言葉の力」を身につけることを願って編集したものです。ご家庭においても、子どもたちと語り合うきっかけとしてこの教科書をご活用ください。

- この教科書は、次のような配慮や工夫をしています。
- 全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。
カラーユニバーサルデザイン／特別支援教育／学習のユニバーサルデザイン／人権教育／外国人児童生徒等教育／防災教育
 - 持続可能な開発目標（SDGs）に関連するテーマを幅広く取り上げています。
 - 児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。
 - 読書紹介や学習用語の解説などの小さな文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
 - 環境に配慮した紙、植物油インキを使用しています。

UD
FONT



教科書中には、「学校の新しい生活様式」を踏まえ、学習活動を設定したり、その様子を挿絵・写真で示したりしています。児童に、活動の様子や留意点を分かりやすく伝えるために、マスクの着用等を省略していますが、実際の活動に際しては、適切な感染症の予防にご配慮ください。

この教科書では、学習の参考となる動画などの資料を小社ウェブサイトにて用意し、その箇所には二次元コードを示しています。機種やインターネット環境等によってはアクセスできないことがあります。また、通信料が発生する場合があります。読み取れない場合は、下記の URL をご参照ください。
https://m-manabi.jp/06s/kokugo3_jou/



この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。

三年

組

この教科書を使うみなさんへ

ここでは、みんなで考えたい大切なことをたしかめることができます。読み取るときには、かならず、先生やおうちの方といっしょに行いましょう。

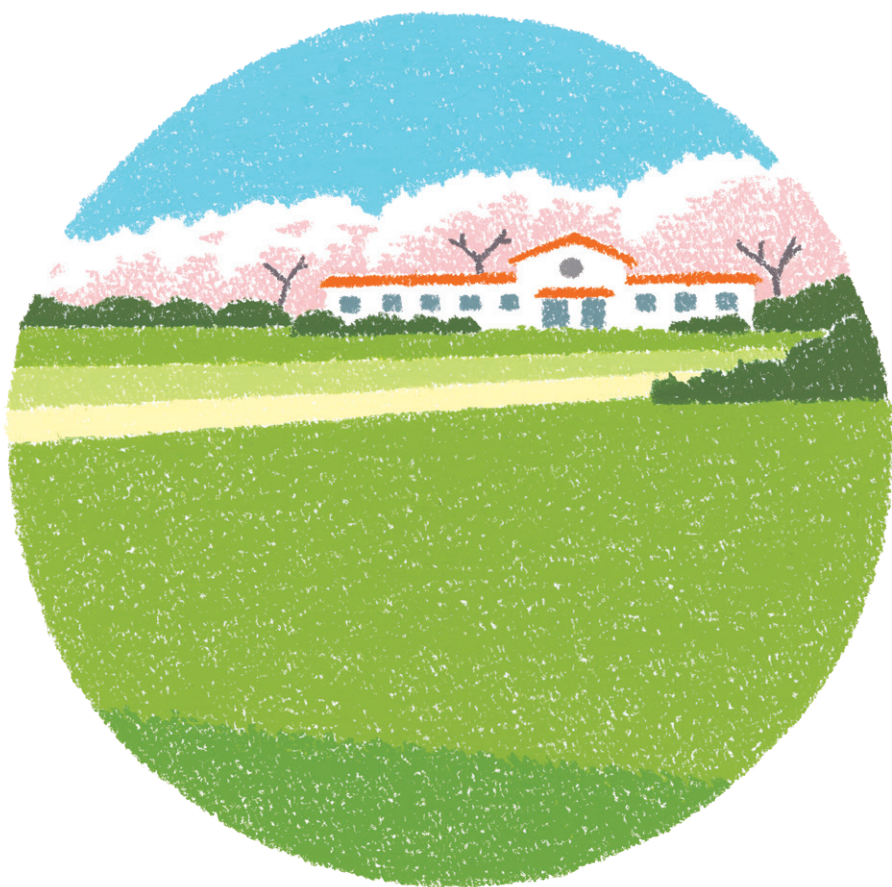
- タブレットなどを使うときは
- かんせんしょうたいさく
- ぼうさい
- SDGs(エスディー・ジーズ)
- 学校で使う日本語



国語こくご

三上さんじょう

わかば



わかばを見みると

むねが晴はれ晴ばれする。

ぼくら子こどもも ほんとは

人間にんげんのわかば。

天てんが、ほら。

あんなに晴はれ晴ばれしている。

ぼくらを見みまもって……。



目次



読む

登場人物の気持ちをたしかめ、そうぞうしたことをつたえ合おう
春風をたどって 如月 かずさ 21

国語の学びを見わたそう 5
よく聞いて、じこしようかい 話す・聞く 14
どきん 谷川 俊太郎 読む 16
わたしのさいこうの一日 書く 18
つづけてみよう 20



話す・聞く

知りたいことを考えながら聞き、しつもんしよう
もっと知りたい、友だちのこと 44
コラム きちんとつたえるために 48



読む

まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう
「れんしゅう」文様 熊谷 博人 53
こまを楽しむ 安藤 正樹 56
全体と中心 じょうほう 65



書く

相手に分かりやすいように、あんないの手紙を書こう
気持ち进行こめて、「来てください」 66
登場人物のへんかに気をつけて読み、すきな場面について話し合おう



読む

まいごのかぎ 斉藤 倫 71



書く

俳句を楽しもう 一声に出して楽しもう 91
こそあど言葉を使いこなそう 言葉 94
引用するとき じょうほう 96
つたえたいことをはっきりさせて、ほうこくする文章を書こう
仕事のくふう、見つけたよ 98
コラム 符号など 103

本は友だち

本で知ったことをクイズにしよう 106
鳥になったきょうりゅうの話 大島 英太郎 111
わたしと小鳥とすずと 金子 みすゞ 118
夕日がせなかをおしてくる 阪田 寛夫 読む 118



こんな係がクラスにほしい一話す・聞く…… 122
 ポスターを読もう一読む…… 124
 書くことを考えるときは一書く…… 128
 漢字の組み立て一言葉…… 130
 ローマ字一言葉…… 138

きせつの言葉 春 42 夏 104
 漢字の広場 ① 41 ② 52 ③ 70



ふろく 学習を広げよう

「たいせつ」のまとめ…… 140
 本の世界を広げよう…… 144
 手紙を送ろう…… 147
 インタビュー 知りたいことをきく…… 148
 これまでに習った漢字…… 150

この本で習う漢字…… 154
 学習に用いる言葉…… 160
 言葉のたから箱…… 161
 図を使って考えよう…… 163

国語の学びを見わたそう

何かをつたえようとするとき、あなたと友だち
 とでは、使う言葉がちがうことがあるでしょう。
 同じことを言おうとしても、いろいろな言葉で
 表すことができるのです。あなたらしい言葉で
 つたえられたらいいですね。

さあ、言葉について
 学んでいこう。

5



この本では、次のしるしが使われています。



他の学習や生活の中でも役に立つ、
 大切なことを書いています。
 国語の学習に用いる言葉を
 たしかめましょう。
 学習に関係のあるページを
 しめています。

文字や言葉のしるし

新しく学習する漢字。


読み方が新しい漢字。

音はかたかなで、訓は平がなで
 しめています。

とくべつな読み方をする言葉。
 読み方に気をつけるかたかな。




このしるしがあるところには、学習の
 助けとなるしりようがあります。読
 み取るときには、かならず、先生やお
 うちの方といっしょに行いましょう。



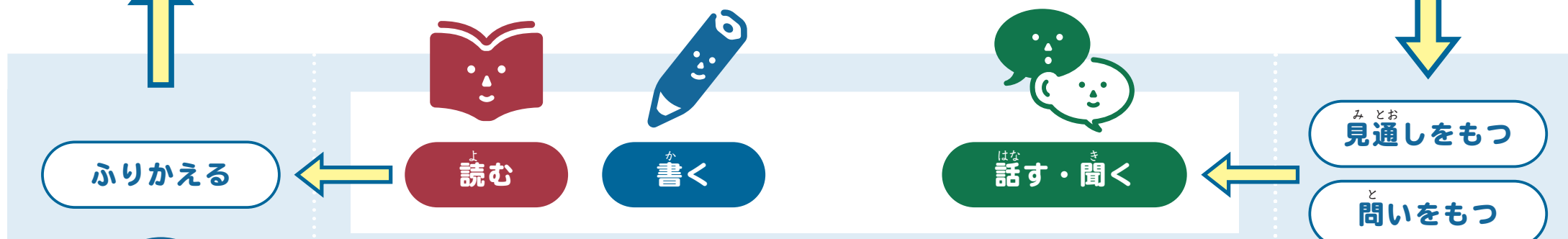
がくしゅう せい かつ
学習や生活にいかす

こんど はな
「今度、みんなに話すときは、
こんなふう^いに言ってみよう。」
なに か かんが
「何を書くかを、考えたり
えらんだりできるようになった。」



がくしゅう せい かつ なか
学習や生活の中で

じょうず はな き
「上手に話したり聞いたり
できるようになりたい。」
なに か
「何を書いたらいいか、
いつもまよってしまう。」





ふりかえろう

「——という言葉を知った。」
「——をよく考えることが
できた。」
「次は、——をしてみたい。」
「〇〇さんの発言で考えが
かわった。」





みんなでよく考える

「——と思うけど、どうかな。」
「これで、うまくつたわるかな。」
「もう一度やってみよう。」



「——のときは、
こうすればいいんだ。」

話す・聞く




一人でじっくり考える



もくひょう 問いをもとう

「やってみたい。」
「どうしたらいいかな。」
「どうして——だろう。」



三年生で学ぶこと



話す・聞く

ことばのじゅんびうんどう

よく聞いて、じこしようかい 14

話を聞いて、知りたいことをしつもんする

もっと知りたい、友だちのこと 44

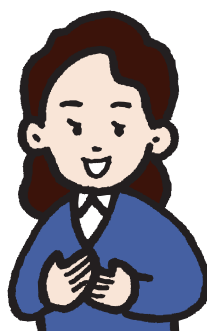
話し合って、考えを広げる

こんな係がクラスにほしい 122

げ下

進行を考えながら話し合う
おすめの一さつを決めよう
理由をあげて、つたえたいことを話す
お気に入りの場所、教えます

三年生では、話し合いのしかたを学んだね。



二年生で学んだこと

決めよう
集めよう

つたえたいことを、「したこと」や「思ったこと」などから、くわしく思い出す。

じゅんび
しよう

つたえたいことを、「はじめ」「中」「終わり」の組み立てで整理する。

話そう・聞く

聞き取りやすい声の大きさや、話す速さをくふうする。
相手に正しくつたわるように話す。
聞いたことの中から、大事なことをメモする。
しつもんをして、相手の考えを引き出す。
友だちの考えを聞いて、自分の考えと同じところやちがうところを見つけたたり、思ったことを話したりする。

つなげよう

話したり、聞いたり、話し合ったりして、気がついたことをつたえ合う。

書く



楽しく書く

わたしのさいこうの一日 18

読みかえして、文章をととのえる

気持ちこめて、「来てください」 66

読む人のことを考えて、書くことをえらぶ

仕事のくふう、見つけたよ 98

図を使って、何を書くかを考える

書くことを考えるときは 128

分かりやすい組み立てを考える

食べ物やひみつを教えます

書いた文章の感想をつたえ合う

わたしの町のよいところ

物語を書くときの組み立て

四まいの絵を使って

書き表し方をくふうして、物語を書く

たから島のぼうけん

話するときも書くときも、何をつたえるかをよく思い出したり、短い言葉でメモしたりすることが大切だったね。



決めよう
集めよう

見たり、聞いたり、思い出したりして、書くことを決める。
つたえたいことを、短い言葉や文でメモする。

組み立てよう

「はじめ」「中」「終わり」のまとまりに分けて考える。
「中」には、くわしいせつめいを書く。

書く

ないようのまとまりに気をつけて書く。
順序が分かる言葉を使って書く。
丸、点、かぎや、文字のまちがいがいいかをたしかめる。

つなげよう

読み合って、思ったことなどをつたえる。
次のようなことから、自分たちの文章のよいところを見つける。
ないようや、使っている言葉のおもしろいところ
様子や気持ちがよくつたわる言葉



せつめいする文章

文章全体の組み立てをとらえる 問い 段落

文様 53

こまを楽しむ 56

作り手のくふうを考える キャッチコピー

ポスターを読もう 124



話題と、れいの書かれ方を考えながら読む

すがたをかえる大豆

せつめいする文章を読んで、考えをもつ ありの行列



物語

言葉に着目して、登場人物の 気持ちをつたしめる

春風をたどって 21

登場人物がどのようにへんかしたかを考える

まいごのかぎ 71

ときん 16

わたしと小鳥とずっと 夕日がせなかをおしてくる

118

連



物語

場面をくらべながら読み、 感想をもつ

会話文・地の文

ちいちゃんのかげおくり

ないようや書かれ方に 着目して読む 三年とうげ

詩

詩のくふうを楽しもう

モチモチの木

登場人物についての 考えをつたえ合う 語り手

二年生で学んだこと

せつめいする文章

題名や絵から、文章の ないようをつたしめる。 順序やわけに気をつ けて、くわしく読む。

登場人物のしたことや 言ったことが分かる言 葉を見つける。

「いつ（時間・きせつ）」 や、「どこ（場所）」が 分かる言葉を見つける。 それぞれの場面で起 こった出来事をたしか める。

とらえよう

順序を表す言葉には、

「まず」「次に」「それから」 などがあつたね。



「まいごのかぎ」では、 どういうことを学習するん だろう。

せつめいする文章

大事な言葉や文が何か を考える。 言葉や絵、写真などの 使い方に気をつけて、 大事なことを読み取る。

物語・詩

まわりの様子を思いう かべ、登場人物のした ことや出来事とむすび つける。 登場人物が、そのこと を言ったりしたりした 理由を考える。

ふかめよう

まとめよう

読んで分かったことと、 自分の知っていることを くらべて考える。

ひろげよう

友だちの感想を聞いて、 いろいろな感じ方や考え 方があることを知る。



三年生の国語の学習で、できるようになりたいことや、楽しみな学習を書いておこう。

国語の学習は、あなたのふだんの生活と強くかわっています。話したり、聞いたり、書いたり、読んだりするときのことを思い出して、できるようにしたいことや、してみたいことを考えてみましょう。

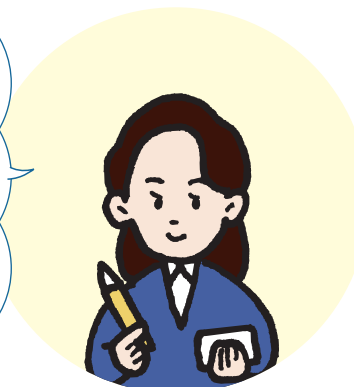
●友だちとの間で

みんなと楽しく話ができるようになりたいな。



●学校生活の中で

ローマ字で、自分の名前を書けるようになりたい。



●家やちいさな

いろいろな本を読みたいな。



言葉

言葉の使い方

国語辞典を使う	38
漢字の音と訓	50
こそあど言葉を使う	94
漢字の組み立て	130
ローマ字	138
漢字の広場 ①③	

下

- ことわざ・故事成語
- 短歌を楽しむ
- きせつの言葉
- 春・夏・秋・冬

★受けつがれてきた言葉

俳句を楽しむ	91
きせつの言葉	
春・夏	

じょうほう

全体と中心	65
引用するとき	96
引用	
出典	
図書館たんていだん	35
本で知ったことを	
クイズにしよう	106
鳥になった	
きょうりゅうの話	111



二年生で学んだこと

言葉の使い方

- 主語と述語
- にた意味の言葉、反対の意味の言葉
- 様子を表す言葉
- かたかなで書く言葉
- 同じ部分をもつ漢字
- なかまの言葉と漢字
- 漢字の読み方

★受けつがれてきた言葉

- 昔話などを聞いて楽しむ
- 言葉遊び

じょうほう

- 順序
- メモの取り方

読書

- 学校図書館（本の分け方・ならべ方）
- 本をしようかいする



ことばのじゅんびうんどう

よく聞^きいて、

じこしようかい

みなさんは、どんなものが好きですか。わになつて、順番^{じゅんばん}にじこしようかいをしましょう。友だち^{とも}が好きなものを、たくさん聞^きけるといいですね。



1 すきなものを一つ^{ひと}考^{かん}えておこう。



2 わになつて、先生^{せんせい}から順^{じゅん}にじこしようかいをしよう。



山のぼりが好きな
木村まり子^{きむらまりこ}です。

3 前^{まえ}の人の話^{はなし}をくりかえしてから、自^じ分のこと^{こと}を話^{はな}そう。



山のぼりが好きな
木村まり子^{きむらまりこ}先生の
となりの、サッカー
が好きな北田直矢^{きたなおや}
です。



サッカーが好きな
北田直矢^{きたなおや}さんのとな
りの、ピアノが好きな
水野ふうか^{みずのふうか}です。

話^{はな}している人^{ひと}の方^{ほう}を見て、
すきなものが何^{なに}かをよく
聞^きく。
話^{はな}すときは、みじかいこと
ばで、はっきりと話^{はな}す。

★ もっと楽しもう

○ すきなものを二つ^{ふた}にして話^{はな}す。

「本^{ほん}とりんごが好きな寺田ゆな
さんのとなりの、歌^{うた}と体育^{たいいく}が
好きな細川しゅん^{ほそかわ}です。」

○ これからしたいことを話^{はな}す。

友だち^{とも}が好きなものを聞^き
て、どう思^{おも}いましたか。





どきん

谷川 俊太郎

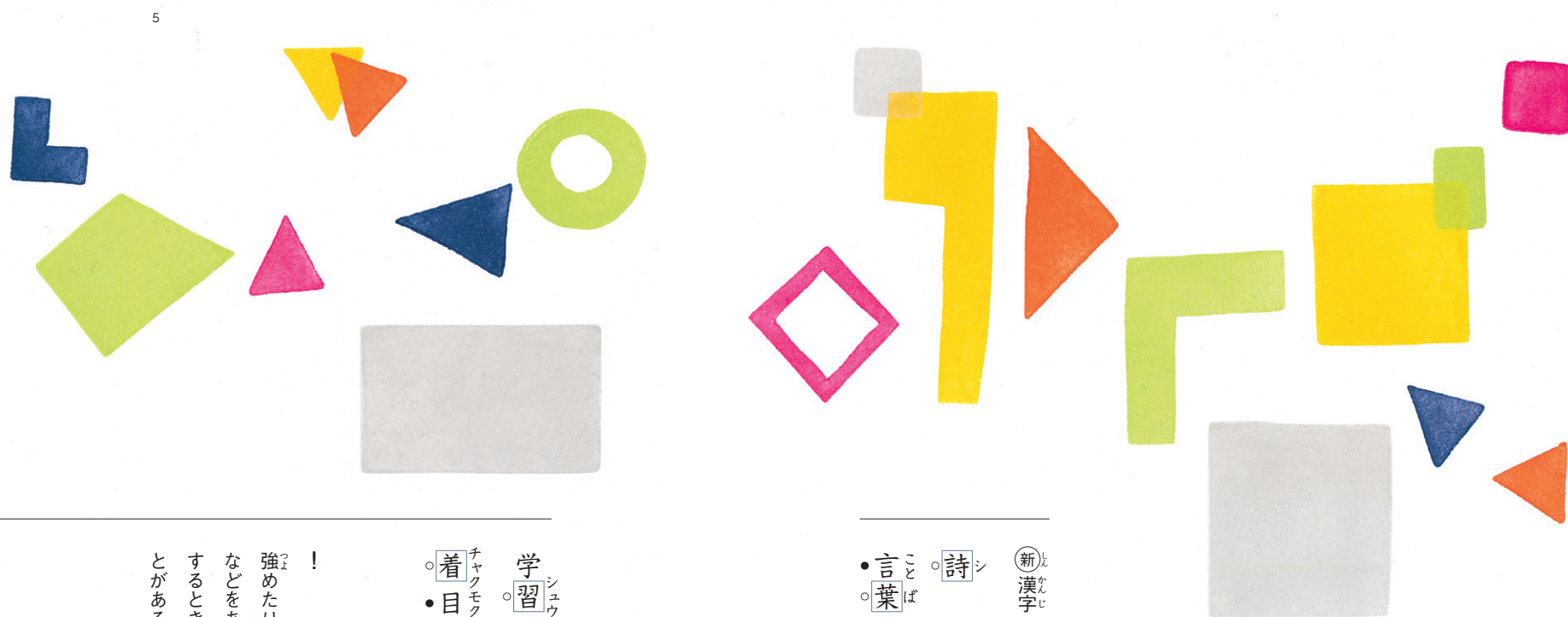
鎌田 光代 絵

さわってみようかなあ つるつる
おしてみようかなあ ゆらゆら
もすこしおそうかなあ ぐらぐら
もいちどおそうかなあ がらがら

たおれちゃったよなあ えへへ
いんりよくかんじるねえ みしみし
ちきゅうはまわってるう ぐいぐい
かぜもふいてるよお そよそよ
あるきはじめるかあ ひたひた
だれかがふりむいた！ どきん



○ ようすをそうぞうしながら音読し、読み方をくふうしたところをつたえ合いましょう。



言葉に着目しよう

「つるつる」「ゆらゆら」などの言葉のようすを、声のちようしや体のうごきなどであらわしてみる。

新漢字 154 ページ
詩 シ
言葉 ことば
は ヨウ

学習 シユウ
着目 チャクモク
きる ちやく
きせる つく
つける

！
強めたり、おどろきなどをあらわしたりするときにつかうことがある。

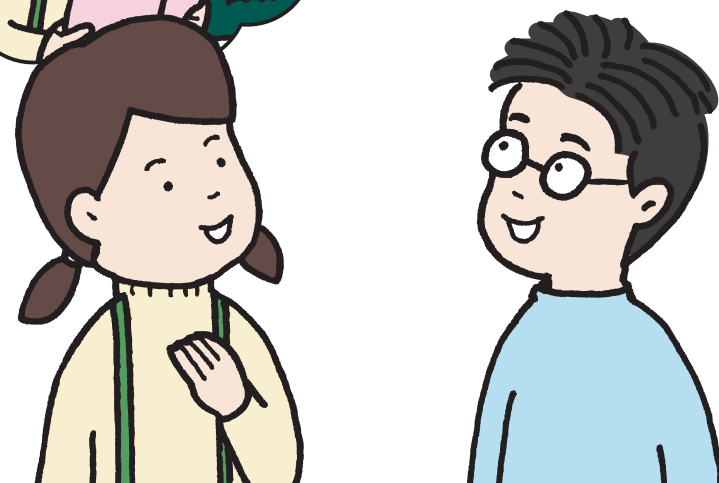
この本、読もう
どきん



わたしの

さいこうの一日

みなさんは、「こんな日があったらいいな。」
と思うことはありませんか。そんな、さいこ
うの一日を思い浮かべて、その日をすごした
つもりで、日記を書いてみましょう。



1 さいこうの一日で、あなたがした
ことや、おこってほしいことを
書き出そう。

原さんは、どんな
ことをしたいの。

虫とりとサッカー
がしたいな。ほかに
も、――。



原さんのメモ

- ・虫とりに行って、ちょうをつか
まえる。
- ・サッカーで、シュートをきめる。
- ・おやつに、ホットケーキが出て
くる。

2 さいこうの一日の日記を書く。

きょうは、午前中に、おにいちや
んと虫とりに行き、きれいなちよう
をつかまえました。たいようの光で、
羽がきらきらかがやいて見えました。
午後は、サッカークラブのれんしゆ
うじあいでした。シュートが二回も
きまったのがうれしくて、スキップ
をしながら帰りました。
家に着くと、おやつに、大すきな
ホットケーキが出てきました。はち
みつがたっぷりかった、あまい、
あまいホットケーキでした。

3 書いた日記を友だちと読み合い、
かんそうをつたえ合おう。



二年生で学習した、ようす
をあらわす言葉をつかって
書く。

もっと楽しもう

○ さいこうのたんじよう日、さ
いこうの正月など、日にちを
きめて書く。

○ さいこうのおもちゃ、さいこ
うの公園など、ものやばしょ
について書く。

さいこうの一日の日記を書
いて、どんなことが楽しかつ
たですか。



日記を書こう

生活せいかつの中なかでの気きづきを、日記にっきに書かきま
しょう。長くつづけられるように、くふ
うしましょう。

こんなことを書こう

- 見みつけたものや、こと
- 友ともだちや家いえの人ひととの話はなしの中なかで、出でてきた
言葉ことば
- 本ほんを読よんでいて出で会あった言葉ことば
- 「春はるらしいな」。「夏なつが近づちかづいてきた」。など
のように、きせつをかんじたこと など
- 日記にっきに書かいたことを、朝あさの会かいなどの時じ
間かんに、みんなに知しらせてもいいですね。

10

5

ノートの書き方

自分じぶんや友ともだちの考かんえをせい
りしながら、ノートを作つくりま
しょう。

1										2									
少 <small>すく</small> し	も	き	★	い	当 <small>とう</small>	水 <small>みづ</small>	春 <small>はる</small>	四 <small>し</small>	月 <small>がつ</small>	少 <small>すく</small>	な	わ	い	つ	ル	野 <small>の</small>	風 <small>ふう</small>	四 <small>し</small>	月 <small>がつ</small>
し	す	な	「	っ	な	野 <small>の</small>	風 <small>ふう</small>	月 <small>がつ</small>	十 <small>じゅう</small>	た	の	け	て	み	ウ	さん	を	十 <small>じゅう</small>	五 <small>ご</small>
ま	い	に	ル	「	だ	さん	を	た	ど	っ	は	「	る	こ	は		ど	つ	て
よ	っ	い	「	は	少 <small>すく</small>						「	し	ま	し	ま				
っ	た	か	が	「	ま						ノ	し	よ	っ	「				
た	ん	ら	気 <small>き</small>	「	に						「	ま	し	た	「				
だ	と	思 <small>おも</small>	う	「	い						「	け	れ	ど	「				
				い	て						「	く	ど	「					
				か	ど						「	お	な	「					
				か	か						「	す	て	「					

10

5

1 友ともだちの考かんえを書か
くときは、だれの考かんえ
かが分かるようにする。

2 自分じぶんの考かんえと、その理り由ゆう
が分かるように書かく。もつと
考かんえたいことにしるしをつけ
るなど、くふうする。

3 大たい切せつなところは、
赤あかえんぴつなどで線せん
を引ひいて、目め立だた
せる。

15



読む

登場人物とうじょうじんぶつの気き持もちをたしかめ、
そうぞうしたことをつたえ合あおう

これまでの学習



二年生にねんせいで学まなんだこと
(物語・詩)



10 ページ



春風をたどって

りすの「ルウ」には、行いってみたいば
しよがあるようです。「ルウ」は、そこ
に行くことができるのでしょうか。

春風をたどって

「旅に出たいなあ。」

りすのルウは、さいきん、そんなことばかり言っています。

心をうきうきさせるような春風が、高い木のえだにすわったルウのしっぽをくすぐっていきます。それなのにルウは、ふさふさしたしっぽをたいくつそうにゆらしながら、たから物のことを思い出していました。

5



如月 かずさ

かめおか あきこ

作 絵

新漢字 154 ページ

登場 トウ
のぼる トウ

人物 ブツ
もの モツ

気持 も
もち

旅 たび
たび リョ

ルウのたから物は、風の強い日にどこからかとばされてきた、たくさん人のしゃしんです。しゃしんにうつっていたのは、青くすき通った海に、雪をかぶった白一色の山々、黄金にかがやくさばく。どれもルウが見たことのない、すばらしいけしきばかりでした。

「それにくらべて、この森のけしきってさ、ぜんぜんわくわくしないよね。」

見なれたけしきをながめて、ルウはためいきをつきます。

海や雪山やさばくのことをルウに教えてくれた、森で一番のもの知りりすも、それらがどこにあるのかまでは知りませんでした。ちっぽけなりすにはたどり着くことができない、遠い遠いばしょにあるのだろう、とも言っていました。

「それでもぼくは、いつかぜったい、しゃしんのけしきを見に行く

白一色 ショク

々
同じ字をかさねると
きにつかうしるし。
「おどり字」などと
いう。

黄金 オウゴン

10

5

んだ。」

そのとき、クルル、とルウのおながが鳴りました。そろそろお昼ごはんの時間です。ルウは、みがるに地上に下りて、お昼ごはんに食べる木のみをさがし始めました。

「さいしょに行くのは、やっぱり海がいいな。なんていっても、とくべつきらきらしてきれいだもん。」

しゃしんで見た海のけしきを思いうかべながら、ルウが森の中を進んでいくと、顔見知りのノノンのすがたを見かけました。

ノノンは、とてもものんびりおっとりしたりです。目をとじたままじっとしていて、ねているのかおきているのか、分からないこともよくあります。そのせいで声をかけづらいので、ルウは、ノノンと

あまり話したことがありません。

ノノンは今日も、ねおっているように目をとじていました。ですが、よく見ると、そのはなが、さかんにくんくんと動いています。ルウはそれが気になって、ノノンに話しかけてみました。

「ノノン、何をしてるの。」

「わあ、びっくりした。あのね、なんだかすてきなにおいがするんだよ。」

ノノンがおっとり答えます。ルウも、ためしににおいをたしかめて、それから首をかしげました。



始める

はじめる

進む

すすむ

動く

うごく

今日

「めずらしいにおいは、とくにしないみたいだけど。」

「においが弱くて分かりづらいんだよ。でも、本当にすてきなにおいなんだ。たぶん、こっちの方からしてくるんじゃないかな。」

ノノンは、ガサガサと近くのしげみに入っていきます。少しまよってから、ルウも、その後についてみることにしました。

前が見えないほど深いしげみを、ルウは、草をかき分けながら進みます。

すると、そのうちに、知らないおにきがつかまりました。さわやかで、ほんのりとあまい、とてもすてきなにおいです。

「ノノンは、こんなにかすかなにおに気がついてたんだ。」

ルウはびっくりして、ノノンのせなかを見つめ

ました。

しげみは、どこまでもどこまでもつづいていきます。ルウはだんだんつかれてきてしまいました。だが、前を行くノノンが足を止めるけはいはありません。においのしてくる方へむかって、まっすぐに、どんどん進んでいきます。その様子にはまるで、ルウが知っているいつものノノンとはべつのりすのようでした。

それからただけ進みつづけたのでしょう。しげみがやっととぎれたかと思うと、あざやかな青い色が、ルウの目にとびこんできました。



深
い

シン
ふかい
ふかまる
ふかめる

様
子

ヨウ
さま

しげみのおこうにあったのは、見わたすかぎりの花ば
たけでした。そこにさく花の色は、ルウが行きたいとね
がっていた、しゃんの海にそっくりな青。そのけしき
のうつくしさに、ルウの口から、ほう、とためいきがこ
ぼれました。

「すごいや。この森に、こんな花ばたけがあったんだね。」
ルウはノンに言いました。ところがノンは、ルウの
声が聞こえなかったかのように、うっとり花ばたけに
見とれています。

そんなノンの様子をながめながら、ルウは思いまし
た。ぼく一人だったら、この花ばたけを見つけることは
できなかっただろうな、と。

「すごいや。」

ルウは、そうくりかえしてにっこりすると、だまって花
ばたけの方をむきました。さわやかな花のかおりにつ
まれて、ゆったりと時がながれていきました。

しばらくたったところに、ノンがのんびり言いました。
「そろそろお昼ごはんをさがしに行こうかなあ。ルウは
どうする。」

そういえば、ぼくもごはんがまだだった、とルウは思
い出しました。けれど、気づいたら、ルウはこう答えて
いました。

「ぼくは、もう少しここにすることにするよ。」

「分かった。じゃあ、またね。」

「うん。また話そう。」

ノノンを見おくった後で、ルウは、また花ばたけをながめました。やわらかな春風が、花たちとルウの毛を、さわさわとなでていきます。海色の花びらの上で、昼下がりの光が、きらきらかがやいています。ルウのしっぽは、いつのまにか、ゆらゆらとおどるようになっています。

花ばたけの空気をぬねいっぱいにすいこんで、本物の海もこんないいにおいがするのかな、とルウはそうぞうしました。

その夜、ルウは、すあなでたから物のしやしんをながめていました。きれいだなあ、いつか行ってみたいなあ、とうっとりしながら。「だけど、あの海色の花ばたけも、とってもすてきだったなあ。」

ぽつりとつぶやいてから、ルウはふと思いつきました。

「そうだ。ぼくの知らないすてきなばしよが、ほかにもまだ、近くにあるかもしれない。あした、ノノンをさそって、いっしょにさがしてみることしよう。ノノンといっしょなら、またあの花ばたけみたいないなけしきを、見つけられそうな気がするから。」

そんなふうに考えてわくわくしながら、ルウがねどこにねそべると、花ばたけからついてきたさわやかなおりが、ふわりとルウのはなをくすぐりました。



クウ
• 空気

きんぎょ
如月 かずさ
一九八三年、群馬
県生まれ。作家。「セ
ミクジラのぬけが
ら」「ふたりはとつ
ても本がすき！」な
どのさくひんがある。

見通しをもとう



といをもとう

あなたは、物語のさいごで、「ルウ」は、どのような気持ちになったと思いますか。この先、「ルウ」は、どのようにくらししていくのでしょうか。

物語
場面
二人



もくひょう

言葉に着目して、登場人物の気持ちを考え、物語のつづきをそうぞうして、つたえ合おう。

登場人物の気持ちや行動、場面の様子
をあらわす言葉を見つける。
登場人物のしたことや言ったことを
もとに、気持ちをたしかめる。

とらえよう

- この物語は、一行空気で、四つの場面に分かれています。「ルウ」の行動をたしかめながら、音読しましょう。
- つぎの点から、「ルウ」の気持ちが分かる言葉を見つけてみましょう。^①
- ・「ノノン」にたいして、したことや言ったこと
- ・森や花ばたけを見ながら、したことや言ったこと

- 1 言葉に着目しよう
 - 気持ちをそのままあらわす言葉
「びっくりして」(26ページ12行目) など
 - したことや言ったことをあらわす言葉
「ためいきをつきます」(23ページ7行目) など
 - 場面の様子をあらわす言葉
「さわやかな花のかおり」(29ページ3行目) など

ふかめよう

- ・花ばたけについて書かれていること
- 物語が進むにつれて、「ルウ」は、どのようにかわったでしょう。
- ・「ノノン」への気持ち
- ・見なれた森への気持ち

- 2 ノートのれい

きせつは、夏になりました。ルウとノノンは、ほかにもすてきなばしやがないかとさがしています。ある日、黄金にかがやくさばくのようなひまわりばたけを見つけて、二人でうっとりと見とれました。

まとめよう

- 「ルウ」は、つぎの日から、どのようにくらししていくと思いますか。そして、どのようなけしきに出会おうでしょうか。物語のつづきをそうぞうして、ノートに書きましょう。^②

- 3 つたえ合いのれい

夏になって新しいばしよを見つけたところが、おもしろかったよ。

ひろげよう

- 友だちの書いたものを読んで、「おもしろい」「もっと知りたい。」と思うことを、つたえ合いましょう。^③

- 3 「黄金にかがやくさばく」は、「ルウ」が持っているしやしんにうつっていたけしきだね。



ふりかえろう

知る
読む
つなぐ

気持ちや行動、様子をあらわす言葉の中で、どの言葉が心にのこっていますか。
登場人物の気持ちを考えるのに、どんなことに気をつけましたか。
これから、物語を読むとき、どのような言葉に着目したいですか。



たいせつ

言葉に着眼して、登場人物の気持ちをたしかめる

○ 気持ちをそのままあらわす言葉からたしかめる。

——「びっくりして」など

○ したことや言ったことをあらわす言葉から、登場人物の様子を考える。

——「ためいきをつきます」など

○ 場面の様子をあらわす言葉から、登場人物がどうかんじているかを考える。

——「さわやかな花のかおり」など



いかそう

物語を読むときには、登場人物の気持ちが分かる言葉に着目しましょう。

15

10

5



友だちについて書かれた物語です。登場人物の気持ちをたしかめながら、読みましょう。



この本、読もう

ソラタとヒナタ

ともだちのつくりかた

きつねのヒナタは、くまのソラタに、友だちはどうやって作ったらよいのかと、たずねました。

ともだちってだれのこと?

友だちの家にいくという、テンの家のはり紙を見たネズミは、だれの家に行ったのだろうと考えました。

紙ひこうき、きみへ

キリコの家に、青い紙ひこうきがとんできました。「夕方には、そちらにつきます」と書かれています。

15

10

5

図書館たんていだん



本は友だち



あなたの学校の図書館では、本をさがしやすくするために、どのようなふうがされていますか。

図書館 154 ページ

図書館の本は、ないようごとに、番号で分けてならべられています。

○本のぶんるいのしかたのれい

ばんごう 番号	ないよう	
0	調べるための本	
1	ものの考え方や心についての本	
2	むかしのことや ちいきの本	5
3	社会のしくみの本	
4	しぜんにかかわる本	
5	ぎじゅつやきかいの本	
6	いろいろなさんぎょうの本	
7	げいじゅつやスポーツの本	
8	ことば 言葉の本	10
9	ぶんがく 文学の本	

▼グループで、学校図書館の地図を作り、どのたなに、どんなしゅるいの本があるかを調べましょう。

5

ちいきの図書館をりようしよう

ちいきの図書館には、学校図書館にはない本やしりようがあります。読みたい本をさがしたり、何かを調べたりするときには、ちいきの図書館にも行ってみましょう。

5

○ちいきの図書館にある、さまざまなしりよう



新聞・ざっし
しんぶん



音声しりよう・
おんせい えいぞうしりよう



ちいきのしりよう



▼読みたい本やひとつような本を、つぎのようにしてさがしてみよう。

○本のしょうかいコーナーを見る

いまのきせつに合った本がしうかいされている。どれを読もうかな。



○たなの番号を見る

どうして雨がふるのかを知りたいから、――。



ひ	よ	ほん	か	ひと
日づけ	読んだ本		書いた人	
がつ 4月21日	ともだちや		うち だりん たらう	内田 麟太郎
〈ひとこと〉				
オオカミくんが、じつはやさしいところ				
が いい なの と思った。				
(お気に入り度 ★★★★★)				

5

「お気に入り度」のらんは、その本をすきだと思った気持ちを、★の数であらわしましょう。(★★★★ / ★★★ / ★)

本を読んだら、きろくをつけましょう。後から思い出すときや、もっと読みたい本をさがすときに、やくに立ちます。

番号
調べる
しらべる
ゴウ
チヨウ

図書館は、みんながつかうばしよです。りよう前後には、手をあらいましょう。

国語辞典を使おう

国語辞典の
使い方



と問いをもとう

人の話や本の中などで、意味や使い方が分からない言葉に出会ったら、どうしていますか。

湖の色は、深い青でした。



言葉の意味や使い方、漢字での書きあらわし方などを知りたいときは、国語辞典を使いましょう。

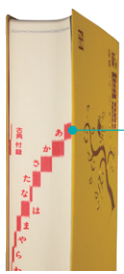
国語辞典のれい

はしら

そのページにある、さいしよとさいごの見出し語がのつています。長い言葉は、とちゅうまでしか書かれないこともあります。

見出し語

漢字での書きあらわし方



つめ
「あ」のところには、「一字目が「あ行（あ・い・う・え・お）」の言葉がのつています。

1024

ぶか ぶかぶん

ぶか「部下」名会社や役所などで、ある人の下で命令や指示を受けて働く人。例上司

ぶかい「不快」名形動はげしいやな感じがして、おもしろくないこと。例不快な顔をする

ふかい「深い」形①表面または入り口から底やおくまでの距離が長い。例傷が深い。例浅い②経験分量程度などが十分などところまで達している。例深い知識。例愛情が深い。例浅い③色がこい。例深い青色。例浅い

ふか「不可解」名形動はげしいやな感じがして、理解できないこと。例不可解な問題

ふか「不覚」名形動はげしいやな感じがして、思わぬ失敗をすること。例不覚な失敗

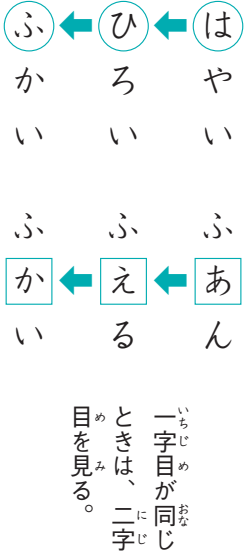
ふかけつ「不可欠」名形動はげしいやな感じがして、絶対に必要な条件。例不可欠な条件

ふか「抗う」動水は生活に不可抗な力がある

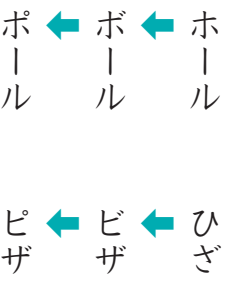
言葉の使い方
その言葉を使った
みじかい文がのつて
います。

見出し語の見つけ方

見出し語は、五十音順にならんでいます。



「は」「ひ」のような清音の後に「ば」「び」のような濁音、濁音の後に「ぱ」「ぴ」のような半濁音の順でなっています。



「シール」「プール」のようなのはす音がある語は、「しいる」「ぶうる」のよ

うに、「あ」「い」「う」「え」「お」に
おきかえられて、なっています。
カード：かあど ゲーム：げえむ
ゴール：ごおる

文の中で、いろいろに形をかえる言葉
があります。国語辞典では、ふつう、左
の でかこんだ形が見出し語です。

かかない	ふかかろう	しずかだろう
かきます	ふかかった	しずかだった
かく	ふかくなる	しずかで
かくもの	ふかい	しずかに
かけば	ふかい海	しずかだ
かこう	ふかければ	しずかな夜
		しずかならば

新漢字 155 ページ

使う つかう

意味 い

湖 みずうみ

漢字 カン

五十音のならば順





2年生で習った漢字

絵の中の言葉を使って、動物園の様子を文に書きましょう。

くじやくが、きれいな羽を大きく広げています。

1 国語辞典を使って、つぎの言葉はどちらが先に出ているか、調べましょう。

- ・「じゅう（自由）」と「じゅう（十）」
- ・「くらす」と「クラス」
- ・「バレエ」と「バレエ」

2 線の言葉を国語辞典で調べ、いくつかある意味のうち、どれが当てはまるか考えましょう。

- ・温かいあま酒を出す。
- ・算数の問題をとく。
- ・たなから新発売の本をとる。
- ・人形を友だちにあげる。

言葉の意味をよそうしてから、国語辞典でたしかめてもいいね。

3 つぎの文章のまちがいをみつけましょう。また、 には、（ ）の中のどの言葉が入るか、国語辞典を使って考えましょう。

きのう、おばあちゃんに合いにいききました。えきからはさか道ですが、 なので平気でした。（なだらか・なめらか・のびやか）

いかそう
書いた文章の言葉や漢字を見直すときに、国語辞典を使いましょう。

平気	文章	人形	発売	問題	あま酒	温かい	自由
へい き	しやう わう	ぎやう ぎやう	はつ ぱい	だい	あま しゅ	あたた かい	じゆう
へい たい ら	しやう わう		はつ	だい	さか しゅ	あたた かい あたた まる	ゆう



春のくらし

みどり

うちだ
りんたろう
内田 麟太郎

みどり まみどり

こいみどり

はるの のやまは

よりどりみどり

みどりの ことり

みどりに かくれ

5

こえばかり

さがせど さがせど

めばえ

たねまき

なえ



生活の中で、春らしさを感じることがあります。春のめぐりで見つけた、春を感じたものについて書きましょう。

土曜日に、家でさくらゆをのみました。おゆの中にさくらの花がさいたみたいでした。ほんのりいいにおいがして、春だなあと思いました。

5

春には、「新」や「春」がつくやさいが食べられます。みずみずしく、やわらかいとされています。

新玉ねぎ 新じゃが 春キャベツ



山菜や、野原で見かける草などにも、春らしい食べ物として知られているものがあります。

ふき

たけのこ



よもぎ

わらび



ぜんまい



たらのめ



知りたいことを考えながら聞き、しつもんしよう

もっと知りたい、友だちのこと

友だちのことを知るために、グループになって、話を聞き合いまししょう。一人ずつ話題を決めて話し、ほかの人がしつもんをします。



と問いをもとう

どんなしつもんをすると、友だちからたくさん話が引き出せるでしょうか。

もくひょう

知りたいことを友だちに答えてもらえるようなしつもんをしよう。

1 友だちに知らせたいことを決めよう。

まず、話し手として、あなたが友だちに知らせたいことを決めましよう。

- れい
- 学校や家での出来事
 - 好きなことやもの
 - 今、がんばっていること
 - 大切にしているもの
- など

2 話の聞き方やしつもんについてたしかめよう。

話す人の方を見ながら聞くなど、よりよい聞き方について考えましよう。また、「しつもののしゅるい」を見て、どんなしつものしかたがあるかをたしかめましよう。

● たしかめよう

「二年生で学んだこと」……………8 ページ

● 見通しをもとう

1 友だちに知らせたいことを決める。

2 話の聞き方やしつもんについてたしかめる。

3 話を聞いて、しつもんする。

4 グループで、やりとりをたしかめる。

● ふりかえろう

- 友だちが話しやすいよう、聞くときのしゅるいなどに気をつける。
- くわしく知りたいことをしつもんする。

○ しつもののしゅるい

知りたいこと	きき方のれい
知らないことや、分からないこと	いつ・どこで・だれが・何を
物事の様子や、方法	どのように
したことや考えたことなどの理由	なぜ・どうして

新漢字 155 ページ

決める

出来事

3 話を聞いて、しつもんしよう。

三、四人のグループになり、一人ずつ話します。聞き手になった人は、しつもんをしましょう。

▼水野さんのグループの様子を見て、聞いている人の聞き方や、しつものしかたのよいところを考えましょう。



わたしが大切にしているのは、家でかっているクマノミのブックです。
ブックは、オレンジ色に、白いおびのようなものがある、きれいな魚です。見ていると、いつも明るい気持ちになります。とくに、えさを食べているところがかわいくて、大好きです。これからも大切にしたいです。

水野さん

話を聞いて、しつもんするときは

- 話題と、話す人がいちばん話したいこと（話の中心）は何かを考えながら聞く。
- 自分が知っていることとつなげながら、話を聞く。
- 自分がとくに知りたいことを考えて、しつもんをえらび、何を知らたいのかが分かるようにしつもんする。

ほかに、大事なと思ったことはありますか。

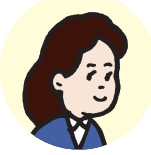
中心
●シン
落とす
おちろ
おとす

しつもんしたり、答えたりするときは、大事なことを落とさないようにしましょう。

「きちんとつたえるために」 48ページ



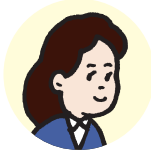
名前は、だれがつけたのですか。



わたしがつけました。



どうしてブックンという名前にしたのですか。



ぶくつとした顔がかわいかったからです。

4 グループで、やりとりをたしかめよう。

どのようなしつもんで、話が広がったり、友だちのことがよく分かったりしましたか。グループでつたえ合いました。



いかそう

何かを調べるために、人にしつもんするときは、知りたいこととはつきりさせましょう。

「インタビュー」 148ページ



たいせつ

話を聞いて、知りたいことをしつもんする

- 話す人の方を見ながら、話の中心に気をつけて聞く。
- 自分がとくに知りたいこととはつきりさせ、どのようにしつもんするのよいかを考える。



ふりかえろう

知る
話す・聞く
つなぐ

話す人が話しやすいように、どんなことに気をつけて話を聞きましたか。知りたいことをしつもんするために、どんなことに気をつけましたか。しつもんをする、どんないいことがありますか。



きちんとつたえるために

これまでに、言いたいことがうまくつたわらなかったことはありませんか。
相手にきちんとつたえるために、落としてはいけないことは何かを考えましょう。

相手
ヨウフク

ソウ
あい
ヨウ
フク



あっ、かわいい。



かわいかったね。



でも、かおりちゃんの家には、もう、犬はいるでしょ。



さっきの犬のことじゃないの。

わたしは、女の子が着ていた洋服のことを言ってたんだよ。

▼どうして、話が食いちがってしまったのでしょうか。

▼二人は、それぞれのようによかったのでしょうか。



ひろし、ちょっと来て。



はあい、すぐ行くよ。



——十分後——



あっ、アイスクリームがとけてる。

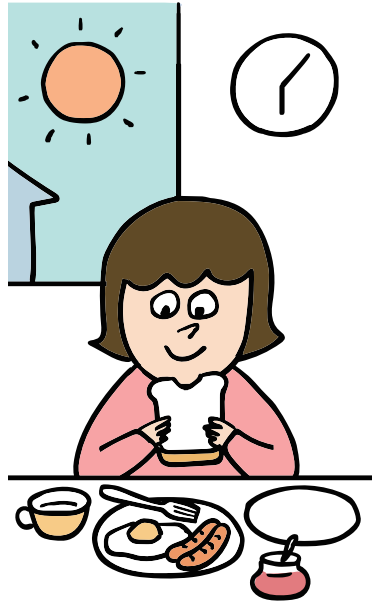
▼ひろしさんとお母さんは、それぞれのようによかったのでしょうか。

◆お母さん

漢字の音と訓

次の文を読んでみましょう。

今日は、朝早く起きて、
ゆっくり朝食をとった。



漢字の読み方には、「音」と「訓」があります。「朝」をれいに見てみましょう。

朝

(音) チョウ 朝食 早朝
(訓) あさ 朝 朝顔

「チヨウ」のような「音」は、聞いただけでは意味の分かりにくいものが多く、「あさ」のような「訓」には、聞いてすぐに意味の分かるものがたくさんあります。どうして、漢字には、「音」と「訓」の二通りの読み方があるのでしょうか。漢字は、はるかむかしに中国で生まれました。いっぽう、日本には、もともと文字がありませんでした。そこで、む

1

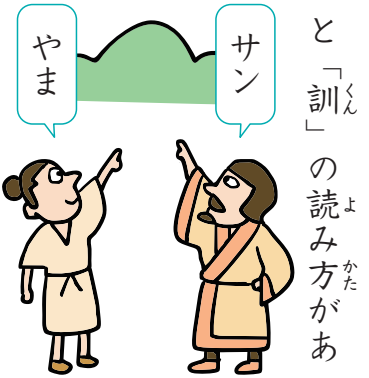
線の言葉では、音と訓のどちらが使われているでしょうか。150ページの「これまでに習った漢字」を見ながら考えましょう。

- ・県道ぞいに、有名な公園がある。
- ・日光が当たって、氷が水になった。
- ・一分は六十秒だ。
- ・農家のおじさんに、仕事の話をする。
- ・毎日、野球のれんしゅうをする。
- ・ゆうびん局までの近道を教える。

2

次の漢字の音と訓をどちらも使って、文を作りましょう。

- ・下
- ・回
- ・切
- ・楽



かしの日本人は、中国の漢字を使って、日本語を書きあらわせるようにしました。たとえば、中国では、「山」という漢字を「サン」というような発音で読んでいました。そこで、日本でもこの漢字を「サン」と読みました。これが、「音」です。いっぽう、日本では、「まわりの土地より高くなっている所」のことを、「やま」といっていました。そこで、この漢字を「やま」とも読むことにしました。これが、「訓」です。それで、「音」と「訓」の読み方があ

次 つぎ

朝食 チョウシヨク

早朝 ソウチャウ

所 トコロ

県道 ケンドウ

有名 ユウメイ

日光 コウカウ

氷 コオリ

一分 プン

六十秒 ビョウ秒

農家 ノウカ

仕事 シゴト

野球 ヤキウ

ゆうびん局 キョク

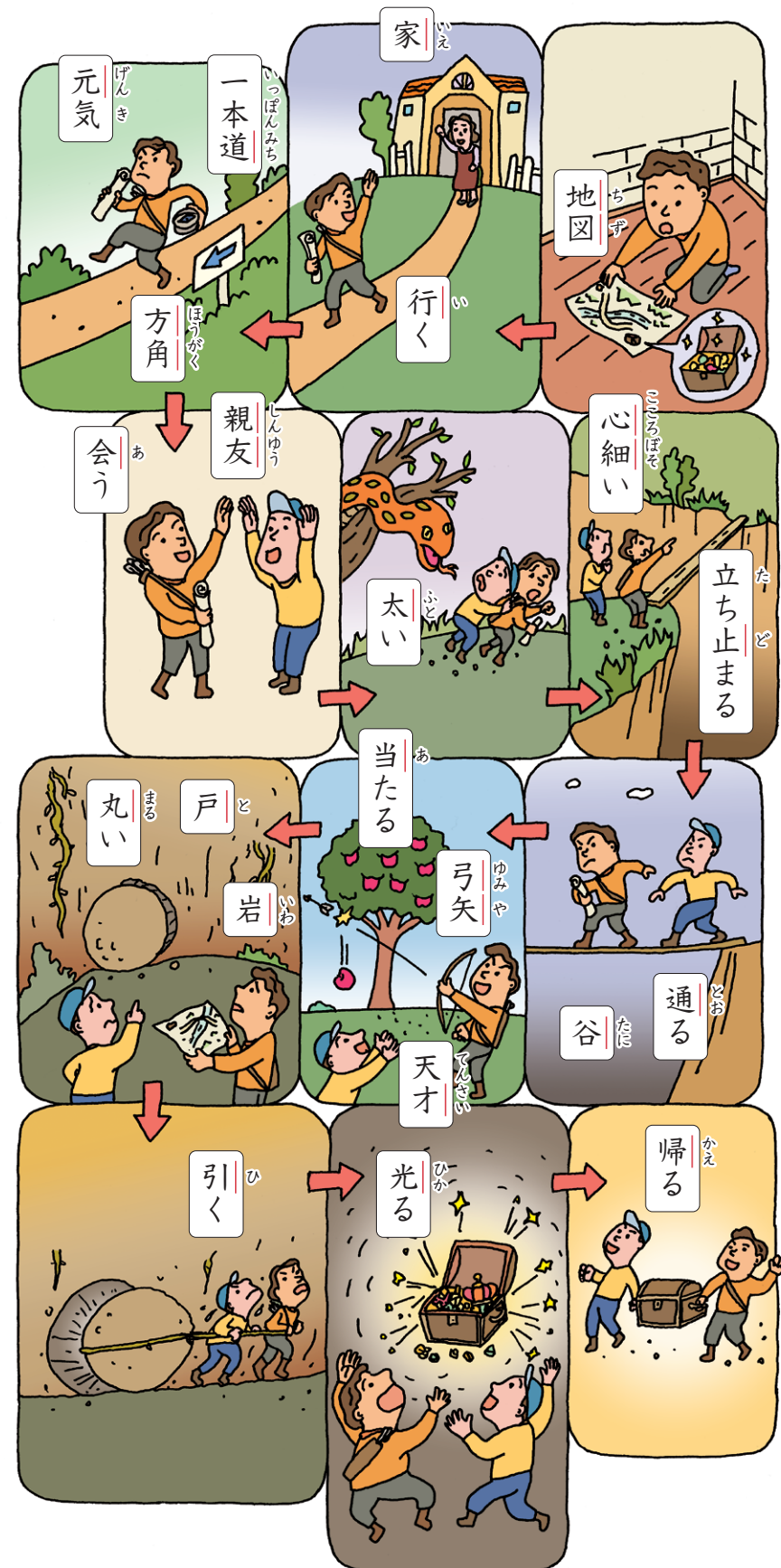


2年生で習った漢字

たから物をさがしに出かけた、男の子のお話を書きましょう。

「そこで」「けれども」などの言葉を使ってみましょう。

そこで、ぼうけんに行くことにしました。



読む

まとまりをとらえて読み、
かんそうを話そう

これまでの学習



2年生で学んだこと
(せつめいする文章)

10 ページ



「れんしゅう」文様

「じょうほう」全体と中心

こまを楽しむ

あなたは、「文様」を知っていますか。
こま遊びをしたことはありませんか。二つの文章から、新しい発見はあるでしょうか。

文様

熊谷 博人

はじめ

① 服やおさらなどには、「文様」とよばれる、いろいろな形の絵や図ががついています。文様の多くには、「いいことがありますよ」というねがいがかめられています。どんなことをねがう文様があるのでしょうか。

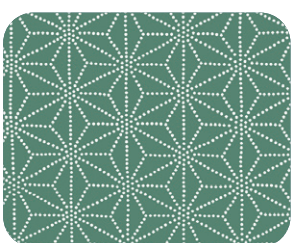


② ①の文様は、「つるかめ」といわれるものの一つです。かめのこうらのような形の中に、つるとかめがいます。つるは千年、かめは万年生きるといいます。元気で長生きをするをねがう文様です。

中



③ ②の文様は、「かりがね」といいます。わたし鳥のかりがとぶ様子を表しています。かりは、遠くからよい知らせをはこんでくれる鳥だといわれています。しあわせがやって来ることをねがう文様です。



④ ③の文様は、「あさの葉」といいます。しょくぶつのあさの葉ににているので、この名前がつけられました。あさは、とても生長が早く、すぐに大きくなります。子どもたちが元気でじょうぶにそだつことをねがう文様で、子どもの着物によく使われました。

おわり

⑤ このように、文様には、人々のくらしから生まれたさまざまなねがいがこめられています。そのことを知ると、文様をえらんだり、みにつけたりすることが、より楽しくなりますね。

新漢字 156 ページ

全体 すべて

こま遊び ユウ あそぶ

発見

▼「問い」に書かれていることをたしかめましょう。

▼③④段落を、「問い」の「答え」に当たるぶぶんはどこかを考えながら音読しましょう。

▼この文章には、文章全体の「まとめ」が書かれている段落があります。どの段落でしょう。

表す

ヒヨウ おもて あらわす あらわれる

問い

160 ページ

段落

160 ページ

文章を組み立てているまとめ。

熊谷 博人

一九四一年生まれ。本のデザイナーなどをしている。

こまを楽しむ

安藤 正樹

こまを回して遊ぶことは、昔から世界中で行われてきました。長い間、広く親しまれるうちに、こまには、さまざまなくふうがつみかさねられてきました。そうして、たくさんのかまが生み出されてきました。日本は、世界でいちばんこまのしゅるいが多い国だといわれています。では、どんなこまがあるのでしょう。ま

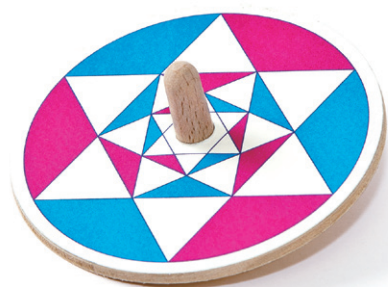


た、どんな楽しみ方ができるのでしよう。色がわりごまは、回っているときの色を楽しむこまです。こまの表面には、もようがえがかれています。ひねって回すと、もように使われている色がまざり合いい、元の色とちがう色にかわるのがたくさんです。同じこまでも、回す速さによって、見える色がかわってきます。

鳴りごまは、回っているときの音を楽しむこまです。こまのどうは大きく、中がくうどうになっていて、どうの横には、細長いあなが空いています。ひもを



鳴りごま



色がわりごま



速く回したとき



ゆっくり回したとき



横

オウ

物の、まん中のぶん

速

ソク
はやい
はやめる
はやまる

行

カイ
よ
セイ

世界中

昔

むかし

引っぱって回すと、あなから風が入り
こんで、ボーツという音が鳴ります。
その音から、うなりごまともよばれてい
ます。

さか立ちごまは、とちゅうから回り方
がかわり、その動きを楽しむこまです。
このこまは、ボールのような丸いどうを
しています。指で心ぼうをつまんで、
いきおいよく回すと、はじめはふつうに
回りますが、回っていくうちに、だん
だんかたむいていきます。そして、さい
ごは、さかさまにおき上がって回ります。

10

5

さか立ちごま



指
心ぼう
回る物の、じくになっ
ているぼう。

シ
ゆび
さす

たたきごまは、たたいて回しつづける

ことを楽しむこまです。このこまのどう
は、細長い形をしています。手やひもを
使って回した後、どうの下ぶぶんを
むちでたたいて、かいてんをくわえます。
止まらないように、上手にたたいて力を
つたえることで、長く回して楽しめます。

5

たたきごま



曲芸
人をおどろかせたり、
よろこばせたりする、
めずらしい芸。

鉄
アン
テツ

安定
アン
テツ
やすい
ジョウ
さだめる

曲ごまは、曲芸で使われ、おどろくよ
うな所で回して、見る人を楽しませる
こまです。曲ごまは、心ぼうが鉄でき
ていて、広く平らなどうをしています。
ほかのこまとくらべ、安定したつくり

10

曲ごま



上手
じょうず

なっているの、あまりゆれることがありません。台^{だい}の上^{うえ}で手^てを使^{つか}って回^{まわ}し、そこから細^{ほそ}い糸^{いと}の上^{うえ}や、ぼうの先^{さき}のような回^{まわ}しにくい所^{ところ}へうつしかえて回^{まわ}しつつづけます。

5

ずぐりは、雪^{ゆき}の上^{うえ}で回^{まわ}して楽^{たの}しむこまです。ふつうのこまは、心^{しん}ぼうが細^{ほそ}いで、雪^{ゆき}の上^{うえ}で回^{まわ}すことはできません。いっぽう、ずぐりは、雪^{ゆき}の上^{うえ}で回^{まわ}して遊^{あそ}ぶことができるように、心^{しん}ぼうの先^{さき}が太^{ふと}く、丸^{まる}く作^{つく}られています。まず、雪^{ゆき}に小^{ちい}さなくぼみを作^{つく}り、わらでできたなわ

10

を使^{つか}って、その中^{なか}になげ入^いれて回^{まわ}します。雪^{ゆき}がふつてもこまを回^{まわ}したいという人^{ひと}々^{びと}の思^{おも}いから、ずぐりは長^{なが}く親^{した}しまれてきました。

5

このように、日本^{にっぽん}には、さまざまなしゆるいのこまがあります。それぞれ色^{いろ}も形^{かたち}もちがいますが、じくを中^{ちゅう}心^{しん}にバランスをとりながら回^{まわ}るというつくりは同^{おな}じです。人^{ひと}々^{びと}は、このつくりにくふうをくわえ、回^{まわ}る様^{よう}子^すや回^{まわ}し方^{かた}でさまざまな楽^{たの}しみ方^{かた}のできるこまをたくさん生^うみ出^だしてきたのです。

10



ゆき^{ゆき} うえ^{うえ} まわ^{まわ}
雪の上で回るずぐり



ほそ^{ほそ} いと^{いと} うえ^{うえ} まわ^{まわ} さき^{さき} まわ^{まわ} きよく^{きよく}
細い糸の上や、ぼうの先で回る曲ごま

あんどう まさき
安藤 正樹
一九五八年、鳥取
県生まれ。こま回し
などの、日本の伝承
遊びのけんきゆうを
している。

見通しをもとう



問いをもとう

あなたがはじめて知ったこまや、気になったこまは、どれですか。そのこまについて、どのようなことが書かれていましたか。



もくひょう

段落ごとに、こまのせつめいをていねいに読み、遊んでみたいこまについて話そう。

- 文章全体と、その中心となるぶぶんとのかんけいをとらえる。
- 段落ごとのないようをたしかめ、文章全体の組み立てをとらえる。

とらえよう

- この文章には、「問い」が二つ書かれています。
- 問い①「問い②」に分けて、ノートに書きましょう。
- 段落に番号をつけて、文章全体を、「はじめ」「中」「おわり」に分けましょう。
- ①「全体と中心」 65ページ
- 「中」では、「問い」にたいする「答え」が書かれています。それぞれの段落に書かれていることをたしかめ、「答え」をせいりしましょう。
- ②

ふかめよう

- 「中」のそれぞれの段落には、「答え」のほかに、どのようなことが書かれていますか。どうして、そのことが書かれているのでしょうか。
- 「おわり」に書かれていることをたしかめて、「おわり」のやくわりを考えましょう。

まとめよう

- 文章に出てきたこまの中から、いちばん遊んでみたいものとその理由を、ノートに書きましょう。
- いちばん遊んでみたいこまについて、グループで話しましょう。自分のかんそうとにているところや、ちがうところはありましたか。
- ③

ひろげよう



ふりかえろう

知る 読む つなぐ 「こまを楽しむ」は、どんなことを中心に書かれた文章でしたか。文章全体の組み立てをとらえるとき、どんなことに気をつけましたか。文章を「はじめ」「中」「おわり」でとらえると、どんなよいことがあると思いますか。

② せいのり

段落	問い①の答え	問い②の答え
2	色が変わりこま	回っているときの色を楽しむ。

③ かんそうをつたえ合うときのれい

ぼくは、色が変わりこままで遊びたいと思いました。

このこまは、回っているときの色を楽しむことができるこまです。

回す速さで、どんなふうに色かわるのかを、見てみたいと思いました。

こまのしゅるい

楽しみ方

理由



たいせつ

文章全体の組み立てを とらえる

- 文章は、「はじめ」「中」「おわり」などの大きなまとまりに分けられる。大きなまとまりは、一つ、またはいくつかの段落でできている。
- 一つ一つの段落には、それぞれ、ひとまとまりのないようが書かれている。
- 「問い」と「答え」に気をつけると、文章全体の組み立てや、段落の中心をとらえることができる。



いかそう

ちしきや科学の本を読むときには、文章の組み立てや、書かれていることの中心に気をつけよう。



じょうほう

全体と中心 かんけいをとらえよう

「こまを楽しむ」は、こまのしゅるいとその楽しみ方を中心にせつめいした文章です。そのことが、読む人に分かりやすくなるように、文章全体が組み立てられています。

はじめ

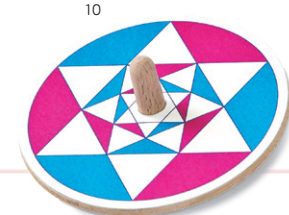
こまとその楽しみ方についてせつめいすることをしめす。

なか

どのようなこまと楽しみ方があるのか、段落ごとにれいをあげてせつめいする。

おわり

こまとその楽しみ方について、まとめる。



この本、読もう

昔からつたわる文様や遊びについて書かれた本です。はじめて知ることにはあるでしょうか。



こども文様じてん
文様には、生き物や、人々のくらしなどが表されています。さまざまな文様の世界を見てみましょう。



くらしのなかの伝統文化
⑥ 遊びと日本人
草花遊び、ごっこ遊び、言葉遊びなど、日本で長く親しまれてきた遊びやおもちゃをとり上げています。



昔の子どものくらし事典
ゴムとびや竹馬、けん玉など、昔の子どものくらしの遊びを、絵や写真とともにしよいかいしています。

文章を読むときだけではなく、話を聞くとともに、中心は何かを考えましょう。また、自分が話したり書いたりするときには、つたえたいことの中心をはっきりさせてから、組み立てを考えるようにしましょう。

▼ 次の話の中心は何か、考えましょう。

五月になりましたが、新しい学年にはなれましたか。同じ学年の友だちだけでなく、ほかの学年の友だちとも、楽しくすごせるといいですね。それでは、学校のみんなで楽しい学校生活にするには、どうしたらよいでしょうか。

あいさつは、したほうも、されたほうも気持ちよくなりますね。また、みんなで遊んだり、歌ったりするのもよいでしょう。

みんなで楽しく生活するために、どんなことができそうか、ぜひ、みなさんじしんで考えてみましょう。





書く

相手に分かりやすいように、
あんないの手紙を書こう

気持ちをこめて、
「来てください」

運動会や学習発表会などのあんないの
手紙を、見に来てほしい人にあてて書き
ましょう。相手に分かりやすくなるよう
に、ないようや書き方を考えましょう。



●たしかめよう

「二年生で学んだこと」………9ページ

●見通しをもとう

1 相手を決め、つたえることを
考える。

2 手紙の組み立てをたしかめる。

3 手紙を書いて、読みかえす。

4 手紙をとどける。



●ふりかえろう

と問いをもとう

これから行われる行事を、だれに見に来てほし
いですか。見に来てもらうためには、どんな手紙
を書くとういでしょう。



もくひょう

読む人にひつようなことがつたわるように、行
事をあんないする手紙を書こう。

●相手に合わせて、ていねいな言葉を使う。
●書いた手紙を読みかえして、まちがいや
分かりにくいところをととのえる。

1 相手を決め、つたえる
ことを考えよう。

●土川さんのメモ

知らせる相手を決め、手紙に
書かないようをメモしましょう。

おわる時間も知らせて
おくと、高村先生が予定
を立てやすいかな。



行事…運動会	日時	場所	自分が すること	気持ち
相手…ほいく園の高村みちる先生	六月一日(土) 午前九時	ひかり小学校 運動場	<ul style="list-style-type: none"> ・ハチメートル走 ・ダンス ・つな引き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスがうまくなったので、見に来てほしい。

2 手紙の組み立てをたしかめよう。

68 ページの土川さんの手紙を読み、組み立てをたしかめましょう。

●行事をあんないするときは

〈相手にとってひつようなこと〉
・いつ、どこで、何をするのか
・行事のせつめいや、自分がすること
〈自分がつたえたいこと〉
・来てほしい気持ち

新漢字 156 ページ

運動会

予定

ハチメートル走
一日

3 手紙を書いて、読みかえそう。

相手が気持ちよく読めるように気をつけて、手紙を書きましょう。

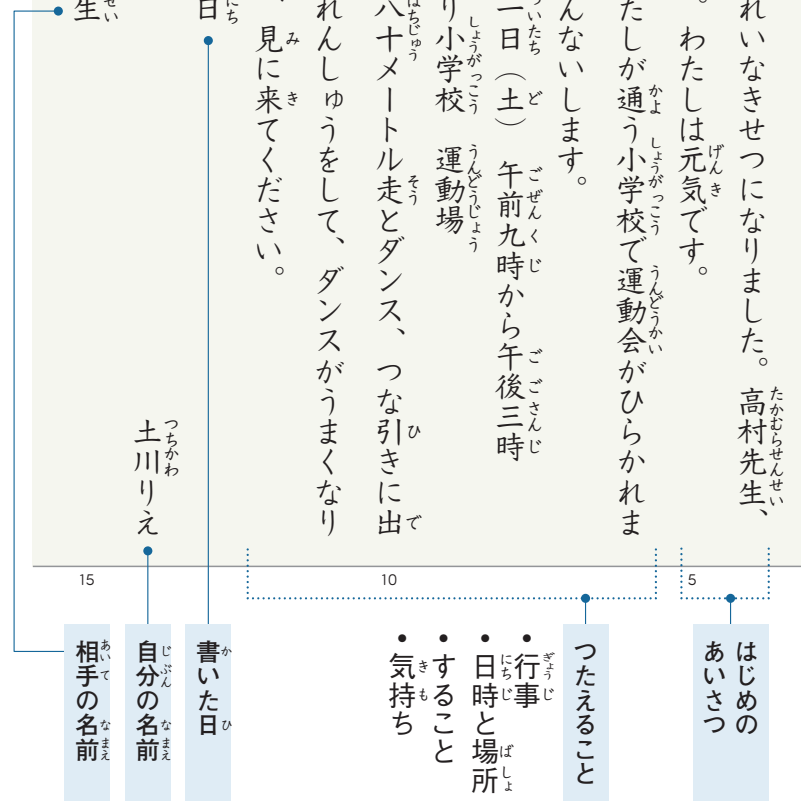
○土川さんの手紙

みどりがきれいなきせつになりました。高村先生、お元気ですか。わたしは元気です。こんど、わたしが通う小学校で運動会がひらかれますので、ごあんないします。

日時 六月一日（土）午前九時から午後三時
場所 ひかり小学校 運動場
わたしは、八十メートル走とダンス、つな引きに出ます。毎日、れんしゅうをして、ダンスがうまくなりました。ぜひ、見に来てください。

五月十三日

高村みちる先生



✓ あんないの手紙を読みかえすときは

〈ないうをたしかめる〉

☐ いつ、どこで、何をするか、正しく書かれているか。

☐ 来てほしい気持ちが書かれているか。
☐ 相手にとって、分かりにくいところはないか。

〈書き方をたしかめる〉

☐ 相手に合わせて、ていねいな言葉づかいになっているか。

☐ 正しく、読みやすい字で書いているか。

ほかに、大事なと思ったことはありますか。

・通う

書きおわたたら、声に出して読みかえし、読みにくいところがないかをたしかめましょう。

▼手紙を読みかえすときには、どんなことに気をつけるとよいでしょうか。

4 手紙をとげよう。

手紙は、ふうとうに入れてわたしましよう。地図やプログラムなどを入れてもいいですね。

ゆうびんで送る場合は、住所とあて名を書きましょう。

「手紙を送ろう」
147 ページ



たいせつ

読みかえして、文章をととのえる

○相手にとってひつようなことや、自分がたえたいことが書かれているかをたしかめる。

○まちがいや分かりにくいところはないか、相手に合わせた言葉を使っているかをたしかめる。



いかそう

あんないをするときは、相手が知っていたことは何かを考えるようにしましょう。

○住所 ○送る

ジュウ ソウ
すむ おくる
すまう



ふりかえろう

知る
書く
つなぐ

言葉の使い方で気をつけたのは、どのようなことですか。
どのようなことに気をつけて、書いた手紙を読みかえしましたか。
今までに書いた手紙とあんないの手紙とは、どんなちがいがありましたか。



まいごのかぎ

夏の日の、学校からの帰り道。一人でしよんぼりと歩いていた「りいこ」は、次々とふしぎな出来事に出会います。さあ、「りいこ」は、どうなるでしょうか。



よ 読 む

登場人物のへんかに気をつけて読み、すきな場面について話し合おう

これまでの学習



言葉に着目して、登場人物の気持ちをたしかめる
(春風をたどって).....

34 ページ



漢字の広場

3

2年生で習った漢字

家をの人の今週の予定を書きましよう。
日曜日の午前は、妹と人形で遊びました。

まいごのかぎ

齊藤 倫 作

陣崎 草子 絵

海ぞいの町に、ぱりっとしたシャツのよ
うな夏の風がふきぬけます。だけど、学校
帰りの道を行くりいこは、うつむきがちな
のです。

「またよけいなことをしちゃったな。」

りいこは、しょんぼりと歩きながら、つぶ
やきました。



三時間目の図工の時間に、みんなで学校のまわりの絵をかきまし
た。りいこは、おとうふみたいなのうしやが、なんだかさびしかっ
たので、その手前にかわいいうさぎをつけ足しました。そしたら、
友だちが、くすくすわらったのです。りいこは、はずかしくなって、
あわてて白い絵の具をぬって、うさぎをけしました。そのとき、り
いこの頭の中にたしかにいたはずのうさぎまで、どこにもいなく
なった気がしたのです。うさぎにわるいことをしたなあ。思い出し
ているうちに、りいこは、どんどんうつむいて行って、さいごは赤い
ランドセルだけが、歩いているように見えました。

ふと目に入ったガードレールの下あたりに、かたむきかけた光
がさしこんでいます。もじやもじやしたヤブガラシの中で、何かが、
ちらっと光りました。

10

5

新漢字
156 ページ

絵の具
グ

ヤブガラシ



ぎだったりして。」

まさか、ね、と思いながら、持っていたかぎをさしこんでみます。すると、すいこまれるように入っていく、回すと、ガチャんと、音がしました。

「あつ。」

思わず、さけびました。木が、ぶるっとふるえたのです。そうして、えだの先に、みるみるたくさんをつぼみがついて、ふくらんでいったかと思うと、ばらばらと何かがふってきました。

「どんぐりだ。」

りいこは、悲鳴を上げます。さくらの木に、どんぐりのみがつくなんて。おさげの頭にコンコン当たるとどんぐりを、ランドセルでふせぎながら、あ

わててかぎをぬきました。どんぐりの雨は、ぴたりとやみ、さくらの木は、はじめの葉ざくらにもどっていました。

「びっくりした。」

りいこは、道の方に後ずさりしながら、言いました。

「こんなことになるなんて。さくらの木のかぎじゃなかったんだ。」

さらに下っていくと、公園があります。よく遊んでいる場所ですが、今日は、通りぬけるだけ。そのほうが、海への近道なのです。ところが、緑色のベンチの



10

緑色
みどり

リョク
みどり

5

悲鳴
ヒメイ

ヒ
かなしい
かなしむ

手すりに、小さなあなが空いているのです。

「なんだか、あれもかぎあなに見えるんだけど、そんなはずないよね。」

りいこは、だれにともなくつぶやいて、通りすぎようとしています。けれど、ふと立ち止まってしまいました。

「でも、もしかして——」。

カチンとかぎを回す音が、あたりにひびきました。ベンチは、四本のあしをぐいとのばし、大きな犬のように、せなかをそらしました。

「わあ。」

りいこは、ひっくりかえりそうになりました。日

かげにいたベンチは、のそのそと歩きだすと、公園のまん中の日だまりにねそべり、そのままねいきを立て始めました。りいこは、びっくりして見ていましたが、しのびよると、かぎをぬきとりしました。ベンチは体をふるわせ、りいこの方を、なんだかうらめしそうにふりかえてから、元いた所に帰っていききました。

「ベンチのかぎでもないよね。歩くなんて、おかしいもの。」

りいこは、ためいきを一つついて、公園を後にしました。坂を下ると、大きな国道にぶつかります。その向こうには、海がきらきらと光っています。





交番までは、もう少し。おうだん
 歩道をわたるとしおのかおりがし
 てきます。道のわきにあみが立て
 てあり、魚の開きが一面にならべて
 ありました。りょうしさんがあじの
 ひものを作っているのです。そばを
 通るとき、中の一ぴきに、円いあな
 が空いているのに気がつきました。
 「お魚に、かぎあななんて。」
 へんだと思いながら、見れば見る
 ほど、やはり、ただのあなではなさ
 そうです。いつしかすいこまれるよ

10

5

• 歩道

。開き

カイ
ひらく
ひらく
あける

• 羽ばたく

うに、かぎをさしこんでいました。
 カチャツ。たちまち、あじの開きは、小さなか
 もめみたいに、羽ばたき始めます。あっけにとら
 れているうちに、あじは、目の前でふわふわとう
 かび上がりました。
 りいこは、あわててとびつき、かぎを引きぬき
 ました。開きは、元のあみの上に、ぽとりと落ち
 ました。
 「あぶない。海に帰っちゃうとこだった。」
 わたし、やっぱりよいけいなことばかりしてしま
 う。りいこは、悲しくなりました。早く交番にと
 どけよう。

5

10





海岸通りをいそぎ始めたとき、ふとバスでいのかんばんが目に入りました。「バス」という字の「バ」の点が、なぜか三つあるのです。その一つが、かぎあなに見えました。「どうしよう。」

りいこはまよいました。よけいなことはやめよう。そう思ったばかりです。そのとき、点の一つが、ぱちっとまたたきました。

「これで、さいごだからね。」

いっしかりいこは、かんばんの前で



せのびをしていました。カチンと音がして、かぎが回りました。ところが、何もおこりません。

ほっとしたような、がっかりしたような気持ちで、バスの時こく表を見て、りいこは「あっ。」と言いました。数字が、ありのように、そろそろ動いているのです。五時九十二分とか、四十六時八百七分とか、とんでもないとうちやく時こくになっています。

「すごい。」

りいこは、目をかがやかせました。でも、

すぐに、わくわくした自分がいやになりました。りいこは、かぎをぬきとりました。

「あれ。どうして。」

時こく表の数字は、元には、もどりませんでした。

りいこはこわくなって、にげるようにかけだしました。交番のあ
る方へすなはまを横切ろうと、石だんを下りかけると、国道のずつ
と向こうから、車の音が聞こえてきます。ふり向くと、バスが十何
台も、おだんごみたいにぎゅうぎゅうになって、やって来るのです。

「わたしが、時こく表をめちやくちやにしたせいだ。」

どうしよう。もう、交番にも行けない。おまわりさんにしかられ
る。りいこは、かぎをぎゅつとにぎりし
めて、立ちすくんでしまいました。

10

フア

5

きみのようなことは、さらにおこりまし

た。つながってきたバスが、りいこの前

で止まり、クラクションを、ファ、ファ、

ファーン、と、がっそうするように鳴ら

したのです。そして、リズムに合わせて、

くるくると、向きや順番をかえ始めまし

た。りいこは、目をぱちぱちしながら、

そのダンスに見とれていました。

「なんだか、とても楽しそう。」

そして、はっと気づいたのです。もし

かしたら、あのさくらの木も、楽しかつ

たのかもしれない。どんぐりのみをつけ

10

5



たのは、きっと春がすぎても、みんなと遊びたかったからなんだ。
ベンチも、たまには公園でねころびたいだろうし、あじだって、い
ちどは青い空をとびたかったんだ。

「みんなも、すきに走って見たかったんだね。」

しばらくして、バスはまんぞくしたかのように、一台一台といつ
もの路線に帰っていきました。そのとき、一つのまどの中に、りい
こはたしかに見たのです。図工の時間にけしてしまった、あのうさ
ぎが、うれしそうにこちらに手をふっているのを。

りいこもうれしくなつて、大きく手をふりかえました。にぎつて
いたはずのかぎは、いつのまにか、かげも形もなくなっていました。
りいこは、夕日にそまりだした空の中で、いつまでも、その手をふ
りつづけていました。



路線

じ ー

さいとう 倫

一九六九年、秋田
県生まれ。詩人、作
家。「せなか町から、
ずっと」「とうだい」
などのさくひんが
ある。

見通しをもとう



問いをもとう

次々とおこるふしぎな出来事について、あなたはもう思い
ましたか。「りいこ」は、どう感じていたのでしょうか。

対する
感じる



もくひょう

ふしぎな出来事に出会って、「りいこ」がど
うにへんかしていったかを考えよう。そし
て、この物語の好きな場面について話し合おう。

登場人物の様子を表す言葉に気を
つける。
登場人物がどのようにへんかしたか
を考えながら読む。

とらえよう

- この物語を、場所や出来事に気をつけて、いくつ
かの場面に分けましょう。
- それぞれの場面について、次のことをたしかめま
しょう。
- ・おこったことと、その様子
- ・「りいこ」がどんなことを思ったか

1 言葉に着目しよう

○「りいこ」の言ったこと

- ・「またよいなことをしちゃったな。(72ページ5行目)」
- ・「なんだか、とても楽しそう。(85ページ9行目)」など

○「りいこ」の様子を表す言葉

- ・「目をぱちぱちしながら」(85ページ7行目)
- ・「大きく手をふりかえました(86ページ9行目)」など

ふかめよう

- この物語のはじめとおわりで、「りいこ」にどの
ようなへんかがありましたか。次のことについて、
書かれている言葉に気をつけて考えましょう。1
- ・ふしぎな出来事に対する、「りいこ」の考え方
- ・「りいこ」の気持ち

2 ノートのれい

わたしは、——の場面が好きです。なぜなら、「り
いこ」は、物語のはじめでは——だったのに、この
場面ではちがっていて、——からです。

3 話し合いのれい

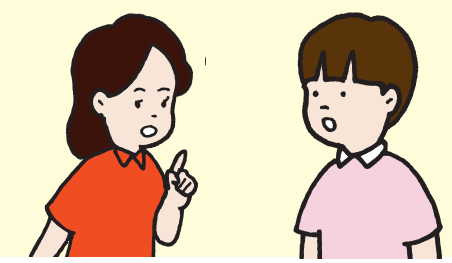
ぼくは、バスの中の「うさぎ」に、
「りいこ」が手をふりかえす場面が
好きだよ。なぜなら、はじめは、——。

まとめよう

- あなたの好きな場面はどこですか。それは、どう
してですか。「りいこ」のへんかとかかわりも考
えながら、ノートに書きましょう。2
- 書いたことを友だちとつたえ合い、考えの同じと
ころやちがうところについて、話し合しましょう。3

たしかに、「うさぎ」に手をふり
かえすところは、「りいこ」の——
な気持ちがよく分かるね。わたしも
同じ場面が好きなんだけど、——。

10



ふりかえろう

知る
読む
つなぐ

どの言葉から、登場人物の様子をそうぞうしましたか。
何に着目して、登場人物のへんかについて考えましたか。
友だちと話し合って、新しく発見したのは、どのようなことですか。



たいせつ

登場人物がどのように
へんかしたかを考える

- どんな出来事がおこったか、登場人物がどのような様子や気持ちなのかをたしかめる。
- 出来事がおこる前と後で、登場人物の考え方や気持ちが変わったかを考える。
- 登場人物の考え方や気持ちのへんかは、言ったことや、その人物の様子を表す言葉から、そうぞうすることができる。



いかそう

物語を読むときには、登場人物が、どんな出来事によって、どうかわったかを考えましょう。

15

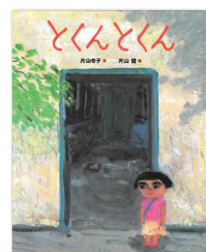
10

5



この本、読もう

ふしぎなことがおこる物語です。出来事によって、登場人物はどうかわるでしょう。



とくとくん

いっしょにひくい湖をめぐす「とくとくん」がだれなのか、かなこには、だんだん分かってきました。

5



うさぎのくれた
バレエシューズ

バレエがうまくなるように、とねがつていた女の子に、こづつみがとどきました。つつみを開けると――。

10



海をかつとばせ

ワタルが、海で、一人っきりで野球のれんしゅうをしていると、知らない男の子が声をかけてきました。

15

声に出して楽しもう

俳句を楽しもう

俳句は、五・七・五の十七音で作られたみじかい詩です。ふつうは、「季語」という、きせつを表す言葉が入っています。俳句の十七音の中には、しぜんの様子や、そこから感じられることが表されています。

山路来て何やらゆかしすみれ草

松尾 芭蕉

山道を歩いてきたら、ふと見つけた道ばたのすみれ草に、なんとなく心が引かれるよ。

閑かさや岩にしみ入る蟬の声

松尾 芭蕉

なんてしずかなだろう。その中で、せみの声だけが、まるで岩の中にしみていくように聞こえている。

区切る

調子

新漢字 157 ページ

俳句は、一句、二句というように、「句」を使って数えます。

声に出して読み、言葉の調子やひびきを楽しみましょう。どこで区切って読むと調子よく読めるか、考えてみましょう。

春の海終日のたりかな

与謝 蕪村

あたたかな春の日の海は、一日中、のたりのたりとうねっているよ。

菜の花や月は東に日は西に

与謝 蕪村

見わたすかぎりの菜の花はたけ。月は東の空からのぼり始め、太陽は西にしずんでいく。

雪とけて村いつぱいの子どもかな

小林 一茶

雪がとけて、子どもたちがいっせいに外に出てきて、村中にあふれかえっているよ。

夏山や一足づつに海見ゆる

小林 一茶

山に登り、ちようじようが近づいてきた。一歩進むごとに、明るいまの海が見えてくる。

詩や歌の音の数

昔から、日本の詩や歌には、五音と七音を組み合わせ、調子を整えているものが、たくさんあります。みなさんの知っている歌にも、五音と七音の組み合わせのものがあります。次の歌詞を、声に出して読んで、調子をたしかめてみましょう。

うみは ひろいな
大きな
月が のぼるし
日がしずむ

「うみ」(作詞 柳波)の一部

あたまを雲の上に出し
四方の山を見おろして

「ふじ山」(作詞 巖谷小波)の一部

みなさんのまわりには、五音と七音を組み合わせ、どんな詩や歌がありますか。さがしてみましよう。

・東
・太陽

ヨウ



おんせい
音声

整える
セー
ととのえ
ととのう

・歌詞

一部

ブ

こそあど言葉を使いこなそう



問いをもとう

下の絵のように、何かを指ししめしながら話したときに、うまくつたわらなかったことはありますか。



この本かな。

あの本、おもしろかったよ。

どの本のこと。

たぶんその本じゃないよ。

あの本、おもしろかったよ。

あの本、おもしろかったよ。

「この」「その」「あの」「どの」などは、物事や場所などを指ししめしたり、たずねたりするときに使う言葉です。このようない言葉、こそあど言葉といい、下の表のように使い分けられます。

こそあど言葉を使って話すときは、相手と自分が同じものを指しているかどうか、気を付けましょう。

様子	方向	場所	物事	こ	そ	あ	ど
こう	こちら	ここ	この	話し手に近い場合	相手に近い場合	どちらからも遠い場合	はっきりしない場合
こんな	そちら	そこ	それ	そんな	あんな	あんな	どんな
どう	どちら	どこ	どれ	どう	どう	どう	どう

1 こそあど言葉を使って、教室にある物についてやりとりをしましょう。

文章の中でのはたらき

こそあど言葉は、文章中の言葉を指して、文をみじかくすることもできます。

わたしは、おばあさんから赤いぼうしをもらった。次の日、わたしは、おばあさんからもらった赤いぼうしをかぶって出かけた。

わたしは、おばあさんから赤いぼうしをもらった。次の日、わたしは、それをかぶって出かけた。

2

次の文章のこそあど言葉に線を引き、それが何を指しているのかを考えましょう。

- ・近所に新しいプールができた。次の土曜日には、そこで泳ぐ予定だ。
- ・しあいのつもりで練習するとよい。コーチから、そんな助言をもらった。童話の読み聞かせの会に申し込みました。あれは、三日前のことです。

3

2の文章の書き方をまねして、こそあど言葉を使ったみじかい文章を作ります。



文章を読むときは、こそあど言葉が何を指しているかに気をつけましょう。

新漢字

157 ページ

近所

泳ぐ

練習

助言

童話

申しこむ

もうす

ドウ

ジョ

たすける

たすかる

レン

ねる

エイ

おや

10

5

10

5

15



じょうほう

引用するとき



文様には、「いいことがあ
りますように。」というねが
いがこめられている。
たとえば、「あさの葉」は、
子どもたちが元気でじょうぶ
にそだつことをねがう文様だ。

- 本などの題名をしめす。
- かぎ「」をつけるな
どして、自分の言葉と
くべつする。
- ひつような部分だけを
使う。
- 元の文章を、そのまま
ぬき出す。

ぼくは、文様にどのよう
なねがいがこめられている
のかを調べました。

「文様」という本による
と、ぼくがきれいだと思っ
た「あさの葉」の文様は、
「子どもたちが元気でじょう
ぶにそだつことをねがう
文様」なのだそうです。

調べたことをほうこくするときには、本などに
書いてある言葉と自分の言葉とを、くべつしなけ
ればいけません。ほかの人の言葉を、自分の文章
や話の中で使うことを、引用といいます。

文章での引用のしかたには、決まりがあります。

引用した言葉が書かれていた本やしりょうなどの
ことを、出典といいます。引用するときには、
何から引用したのかを読む人にも分かるように、
出典をしめすことが大切です。

出典は、文章のさいごに書きましょう。

- 次のことを書く。
- ① 書いた人
- ② 本などの題名
- ③ 出版社（発行所）名
- ④ 発行年
- ⑤ 書かれていた
ページ

「使った本」
熊谷博人「文様」〇〇図書
二〇二四年、五十五ページ

①〜④のことは、本のさいごの方にある奥付
に書かれています。本で調べたことをきろくする
ときには、奥付を見て、①〜④のことも書いて
おきましょう。

奥付のれい

文様
2024年3月 第1刷発行
著者 熊谷博人
発行所 株式会社〇〇図書
〒〇〇〇〇-〇〇〇〇
東京都〇〇区〇〇-〇

出典をしめすためにひ
つようなことが、奥付に
まとめられているんだね。



「こまを楽しむ」（56ページ）から引
用して、あなたがきょうみをもったこ
まとその遊び方を、一つしようにいし
ましょう。

- 引用
- 出典

調べたことを書きとめるときには、
ないようだけでなく、その出典も書
いておきましょう。

引用
出典
160
ページ



書く

つたえたいことをはつきりさせて、
ほうこくする文章を書こう

仕事のくふう、見つけたよ

みなさんは、大人になったらどんな仕事をしたいですか。どの仕事にも、はたらいっている人の、さまざまなくふうがあります。みの回りの仕事のくふうを見つけて、文章に書き、友だちとつたえ合いましょう。



問いをもとう

あなたは、みの回りのどんな仕事にきょうみが
ありますか。調べてみたいのは、どのようなこと
ですか。



もくひょう

調べて分かったことの中から、つたえたいこと
をえらんで、友だちにほうこくする文章を書こう。

1 仕事について調べ、つたえることをえらぼう。

きょうみのある仕事について、次のように調べましょう。そして、読む人のことを考えながら、何を書くかをえらびましょう。

- どんなくふうをしているのか、本で読んだり、じっさいに様子を
見たり、はたらいっている人や家の人にきいたりする。
- 調べて分かったことはメモをとり、後で見かえせるようにする。

5

調べて、自分が「すごい。」と
思ったことは、きつとみんなも
知ったらおどろくんじゃないかな。



●たしかめよう

「二年生で学んだこと」………9ページ
「引用するとき」………96ページ

●見通しをもとう

1 仕事について調べ、つたえる
ことをえらぶ。

2 ほうこくする文章の組み立て
を考える。

3 ほうこくする文章を書く。

4 読み合って、かんそうをつた
える。

●ふりかえろう

- つたえないように合わせて、段落をわ
ける。
- だれに、何をつたえたいかを考えながら、
書くことをえらぶ。

✓ つたえることをえらぶときは

□ 調べて分かったことの中から、とく
につたえたいことは何かを考える。

□ 読む人が知っていることと知らない
ことをよそうしたり、読んでどう思
うかを考えたりする。

ほかに、大事だと思った
ことはありますか。

◆ 大人

○土川さんが書いた、ほうこくする文章

さくれい



スーパーマーケットの商品のなれば方のくふう

土川 りえ

1. 調べたきっかけや理由

わたしは、家の人に買い物をつたのまれて、よくスーパーマーケットに行きます。いつも、どのように商品をつたらべるのかが気になっていました。そこで、商品のなれば方のくふうについて、調べることにしました。

2. 調べ方

本を読んでスーパーマーケットについて調べてから、ひかりスーパーの見学をしました。また、店長の木村さんに話をうかがいました。

3. 調べて分かったこと

(1) せんでんした商品のおき方
「スーパーマーケットの仕事」という本に、「商品は、ちらしてせんでんする」と書いてあったので、まず、そのことについて木村さんに話をうかがいました。



ひかりスーパーでは、ちらしてせんでんした商品の前に、「おすすめ品」と書いたふだを立てて売っているそうです。木村さんは、「おすすめ品は、お客様がよく通る場所に、できるだけ広くおくようにして目立たせます。」とおっしゃっていました。

4. まとめ

スーパーマーケットで何気なく見ていたたなにも、一つ一つくふうがあることを知りました。とくに、おすすめ品を目立たせるために、商品をおく場所や広さを考えていることに、おどろきました。こんど、スーパーマーケットに行くときは、お店の人のくふうをさがしながら買い物をしたいと思います。

〈使った本〉 今野春道「スーパーマーケットの仕事」〇〇図書、2024年、58ページ

3

ほうこくする文章を書く。

はじめ

1. 調べたきっかけや理由

2. 調べ方



中

3. 調べて分かったこと
(考えたことを書くこともある。)



おわり

4. まとめ
(全体を通して考えたことや、思ったこと。)

つたえたいことは、ないようのまとまりに分けましょう。

2

ほうこくする文章の組み立てを考えよう。

▼あなただったら、
「土川さんのメモ」
の中から、どれをえ
らんで文章に書きま
すか。それは、なぜ
でしょうか。

5

○土川さんのメモ

本に書いてあったこと

- ・スーパーマーケットでは、食品を中心とした商品を売っている。
- ・商品は、ちらしてせんでんする。

5

ひかりスーパーの店長さんの話

- ・ちらしてせんでんした商品の前に、「おすすめ品」のふだを立てる。
- ・やさしい売り場をきれいに见せるために、色のちがうやさしいしを、横にならべている。

10

○学びをいかそう

調べて分かったことを書くときは、「引用するとき」(96ページ)で学んだことをいかしましょう。

- ・読む人に分かりやすくなるように、れいをあげて書く。
- ・調べて分かったことと、考えたこととがくべつでできるよう、段落を分ける。
- ・絵やしんを使うときは、見せたものがはつきり分かるものにする。

○ほうこくする文章を書くときは

お客様	商品	食品	新漢字
キヤク	ショウ	ヒン	157
キヤク	ショウ	しな	ページ

はじめ

中

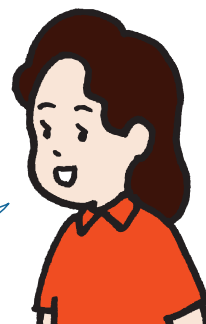
おわり

4 読み合って、かんそうをつたえよう。

文章を読み合い、次のようなことについてつたえましょう。

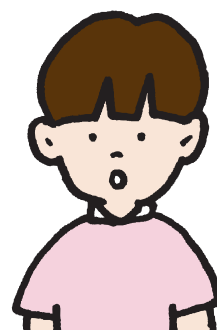
○書き方やせつめいのしかた

○はじめて知ったことや、おもしろかったこと



本で読んだことと、じつさいに話をきいたことが、分かりやすく書かれていたよ。

商品をおく場所が、こんなふうに考えられているなんて、知らなかった。



たいせつ

読む人のことを考えて、書くことをえらぶ

○メモに書いておいたことの中から、自分がとくにつたえたいことをえらぶ。
○読む人が知っていることと知らないこと、知りたいだろうことを考える。



いかそう

社会や総合的な学習の時間で、調べたことをほうこくする文章を書くときも、読む人のことを考えて、何を書くかをえらびましょう。

総合的



ふりかえろう

知る 調べて分かったことと考えたこととを、どうくべつして書きましたか。
書く 書くことをえらぶとき、どのようなことを考えましたか。
つなぐ 友だちの文章を読んで、まねしてみたいと思ったことは何ですか。

符号など

○句読点 丸（。）を句点、点（・）を読

点、合わせて句読点といえます。句点は文の終わりに、読点は、文の中の意味の切れ目にうって、文を読みやすくします。

●入学式の日は、晴天だった。

●なんと、今年は、去年の二倍のねだんになったのですね。

●毛筆で書くと、気持ち引きしまる。

●父は図書館へ、母は銀行へと、同時に家を出た。

●中点（・） 言葉をならべる場合に使います。

●タンポポ・オオバコ・シロツメクサなど。

○ダッシュ（—） ①せつめいをおぎ

なう場合、②言い切りにせず、とちゅうで止める場合に使います。

①辺——図形を作る直線。

②「まあ、なんてきれいな——」。

○かぎ（「」） ①会話、②書名・題名、

③思ったこと、④とくにほかの文と分けたい言葉や文をしめす場合に使います。

○横書き 左から右に書きます。

●算用数字を使います。ただし、「一つ」

「二日目」などは、漢数字を使います。

●読点として、コンマ（,）が使われることもあります。

句読点

●入学式

●晴天

●去年

●二倍

●毛筆

●銀行

●同時

●直線

●今年

●二日



夏のくらし

はなび

鶴見 正夫

ひのはな
さけさけ

なつのよるのにわに

さいてちつて
ちつてきえて
きえてもまだのこる

5



すだれ

うちあげ花火

うちわ

かとりせんこう

とじためのなかに
ふしぎなひのはな
いまさいたはなび

生活の中で、夏らしさを感じることはあります。かのみの回りで見つけた、夏を感じたものについて書きましょう。

今日はとてもあつかったので、夕方におばあちゃんといっしょにうち水をしました。家のにわに水をまくと、すずしくなったように感じました。おばあちゃんが子どものころも、うち水をしていたそうです。

5

あつい夏をのり切るためのくふうです。

ふうりん

あみ戸

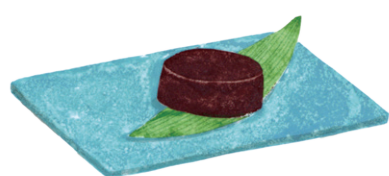
せんぷうき



夏には、つめたくて、のどごしのよいものがよろこばれます。

水ようかん

みつめ



そうめん

白玉

ところてん



白玉



本は友だち

本で知ったことを クイズにしよう



本を読むと、しぜんや生活、社会についての新たな
ちしきや、今まで知らなかった考え方に会えます。
本を読んで、はじめて知ったことをクイズにして、
友だちと出し合ひましょう。

見通しをもとう

1 本の読み方について考える。

2 本をえらんで読む。

「鳥になつたきょうりゅうの話」
111 ページ

3 クイズ大会を開く。

1 本の読み方について考えよう。

ふだん、あなたは、どんな本を、どの
ように読んでいますか。友だちと出し合
ひましょう。

○ていねいに読む

ぼくは、物語を、はじめ
からおわりまで、きちんと
読むことが多いな。



○おおまかに読む

科学読み物を読むとき
は、本全体をおおまかに
読んでから、大事だと思
ったところを読みかえ
すよ。



○目次からえらんで読む

いろいろな物語が入って
いる本は、目次を見て、気
になった物語だけを読むこ
とがあるよ。

○さくいんからさがして読む

図鑑を読むときは、さく
いんを使って、知りたいこ
とが書いてあるところをさ
がすよ。



・新たな

さくいん

ふつう、本の後ろの方にある。

本の中に出てくる言葉や物事をぬ
き出して、五十音順に整理し、ど
のページにあるかをしめしている。

さくいん

【チ】

チッチゼミ.....73
チビクワガタ.....36
チャイロスズメバチ.....59
チャタテムシのなま.....113
チョウトンボ.....16
チョウのなま.....22

【ツ】

ツクツクボウシ.....74

さくいん
160 ページ



この本、読もう



宇宙人っていつの?

宇宙には、わたしたちがくらす地球にた星があるそうです。どんな生き物がいるか、そうぞうしてみよう。

20



塩の絵本

あせは、しょっぱい味がしませんか。人は、塩がないと、生きることができません。塩は、地球上のいろいろな場所にあるのです。

15



プランクトンのえほん ゾウリムシ

池やぬまなど、水中でくらすゾウリムシ。小さな体には、ひみつがたくさんあります。

10



サファリ

アフリカのケニアに着きました。これから、野生動物のかんさつをする、「サファリ」の旅に出かけましょう。

5



とりになった きょうりゅうのはなし

鳥ときょうりゅうの、おどろきのかんけいを、読んでたしかめてみませんか。

20



ファーブル こんちゅう記 1

馬のふんを玉にしてころがすタマコログASHにきょうみをもらったファーブルは、つかまえて、かんさつし始めました。

15



たねのはなし

花がさくまでに、十年もかかるたね。二十五キログラムものおもさがあるたね。いろいろなたねを見てみましょう。

10



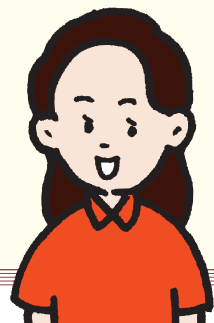
マングローブの 木の下で

海の水でもそだつ、ふしぎな植物、マングローブ。木の下には、生き物がたくさん。

5

この文章は、
ページから読むこと
ができます。

わたしは、「とり
になったきょうりゅう
のはなし」を読む
ことにしたよ。



2 本をえらんで読もう。

図鑑や科学読み物などから、おもしろそうだと思う本をえらんで読みましょう。①で出し合った読み方をいかして読んでみるというですね。

図鑑

絵やしゃしん、図などをを使って物事をせつめいした本。「植物図鑑」「動物図鑑」など、一さつに同じなまのものを数多く集めて、しょうかいしている。

10



5

科学読み物などの本

ふつう、一つの物事についてくわしくせつめいしている。題名に、せつめいされている物事や、そのとり上げ方が表れていることが多い。

10



5

集める

あつめる

植物

うえる

新漢字

157 ページ

3 クイズ大会を開こう。

本で知ったことをクイズにして、友達に出しましょう。その本を読んで、あなたがおどろいたことやおもしろいと思ったこと、友達が知らないだろうと思うことなどから、クイズを考えてみましょう。

5

○クイズのれい



きょうりゅうのしそんは、すがたをかえて、今も、この地球で生きています。何にすがたをかえているのでしょうか。

☑ 読書に親しむために

読む本のしゅるいや目的に合わせて、次のような読み方を使い分けるとよい。

- はじめからおわりまで、ていねいに読む。
- 本全体をおおまかに読む。
- 目次やさくいんを使って、ひつようなどところだけを読む。
- 知りたいことがあるときは、目次やさくいんを使うと、目的のページを早く見つけることができる。

10

5



読んでみよう

109 ページでとり上げている本です。あなたにとって、はじめて知ることはあるでしょうか。

鳥になった

きょうりゅうの話

大島 英太郎 文・絵

あなたは、きょうりゅうの化石を見たことがありますか。

はくぶつ館などにあるきょうりゅうのほねの化石を見ると、わたしたちは、その大きさにびっくりさせられます。こんなに大きな生き物たちが、本当にいたのです。



化石

古い時代の生物や生物の生活のあとが、地中にのこされたもの。

化石

力

きょうりゅうがすんでいたのは、ずうとずうと大昔のことです。そのころの地球はとてもあたたかくて、きょうりゅうたちにとってはくらしやすい所だったのです。

きょうりゅうには、植物を食べるものや、ほかのきょうりゅうをおそって食べる肉食のものなど、いろいろなしゅるいがありました。見た目もさまざまで、体がかたいうろこにおおわれているものもいれば、ふさふさとした羽毛が生えているもの、そのりょうほうをもつものもいました。

ところで、きょうりゅうは、みな大きかったわけではありません。なかには、

ねこや犬ぐらいの大きさのきょうりゅうもいて、すばやく走り回りながら、とかげやねずみに似た動物などをつかまえて食べていました。これらの小さなきょうりゅうたちにも、羽毛が生えているものがありました。

やがてそれらの中に、木の上でくらすものがあらわれました。木の上なら、地面の上とちがってきにおそわれることも少ないし、えさとなる虫などもたくさんいたからです。

これらのきょうりゅうは、体がかかるかったので、手あしをバタバタと動かして木に登ることができました。

木の上で生活を始めたきょうりゅうたちのしそんは、とても長い年月がたつ



•地面

ちに、木から木へととびうつってくらすようになりました。

そして、それらのしそんの中には、手あしに生えている羽毛が長くのびて、つばさの形になったものがあらわれたのです。

やがて、空をとべるようになったきょうりゅうたちは、食べ物をもとめて遠くまでとんでいくようになりました。

そのころの地球では、地上を歩く大きなきょうりゅうと、つばさのある小さなきょうりゅうとが、いっしょにえさをとるすがたが見られたことでしょう。

ところが、今から六千六百万年ほど前のこと、地球の様子が大きくかわり、大



5

10

15

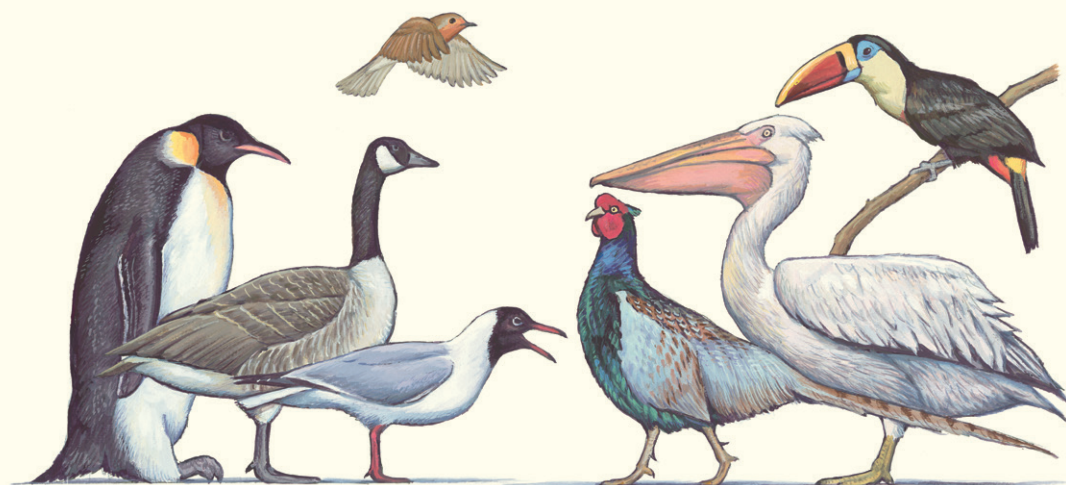
きなきょうりゅうのなかまはほとんど死にたえてしまいます。けれども、つばさを持ち、とぶことのできる小さなきょうりゅうのしそんだけは、生きのこりました。そして、これらのきょうりゅうは、今でもすがたをかえて生きているのです。

5

それが鳥なのです。鳥は、生きのこったきょうりゅうだったのです。

鳥ときょうりゅうとでは、ずいぶんちがっているように見えますね。でも、ほねやあしのつき方など体のつくりをよく調べてみると、とてもにているのです。

大きさはどうでしょう。ほとんどの鳥は、きょうりゅうよりずっと小さな体をしています。なぜ、鳥たちは、このよう



10

15

死にたえる

しぬ

に小さくなったのでしよう。

それは、空をとぶには、小さくてかるい体のほうが都合がいいからです。また、小さければ食べ物も少なくてすみます。小さくなった鳥は、花のみつや草のたねなど、ほんの少しのえさを食べて生きていけるようになったのです。

5



10

ところで、鳥の中には、とてもうつくしい羽毛をもつものもあります。昔のきよ

うりゅうがどんな色をしていたのかは、長い間、そうぞうするしかありませんでした。しかし、手がかりがのこった羽毛の化石が見つかり、少しずつきょうりゅうの色が分かってきています。もしかしたら、おしどりのように色あざやかなきょうりゅうもいたかもしれませんね。

5

都合

ツ ト
みやこ

おしどり

かものなかまで、おすはうつくしい色の羽をもつ。



しゃしん

ティラノサウルス
全長やく十三メートルになる、大型の肉食きょうりゅう。

ブラキオサウルス
全長やく二十五メートルになる、大型の草食きょうりゅう。

ティラノ
サウルス



10

昔々大昔の地球を歩き回っていたティラノサウルスやブラキオサウルスなどの大きなきょうりゅうたちは、もういません。けれどもそのかわり、鳥という小さなきょうりゅうのなかまは、今も元気にこの地球で生きているのです。

おおしま 英太郎
大島 英太郎
一九六一年、栃木
県生まれ。絵本作家。
「羽毛恐竜」などの
作品がある。



詩を味わおう

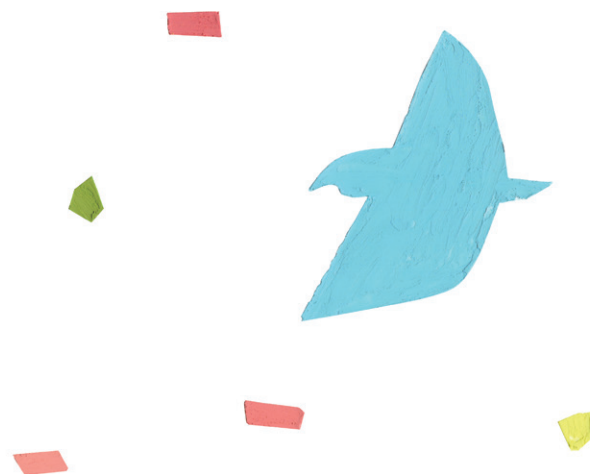
連ごとに様子を思いうかべながら、二つの詩を読みましょう。

わたしと小鳥とすずと

金子 みすゞ

わたしが両手をひろげても、
お空はちつともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう
に、
地面をはやくは走れない。

5



わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう
に、
たくさんうたは知らないよ。

5



すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。



○ どうして、「わたし」は、「み
んなちがって、みんないい」と
言っているのでしょうか。

10

言葉に着目しよう

「とべないが」や「でないけど」と
いう言い方に気をつけて、くらべて
いることをたしかめる。

10

リョウ
手

新漢字

158
ページ

160
ページ

一行空きなどを入れ
て区切られた、詩の
中のまとまり。



連

夕日ゆうひがせなかをおしてくる

阪田 寛夫さかた ひろお

夕日ゆうひがせなかをおしてくる

まっかなうででおしてくる

歩くあるぼくらのうしろから

でっかい声こえでよびかける

さよなら さよなら

さよなら きみたち

ばんごはんがまってるぞ

あしたの朝あさねすごすな

5



この本、読もう

わたしと小鳥と
すずと



夕日ゆうひが
せなかを
おしてくる



負まける
フ
ままける
ままかす
おおう

ままかす
おおう

夕日ゆうひがせなかをおしてくる

そんなにおすなあわてるな

ぐるりふりむき太陽たいように

ぼくも負けずどなるんだ

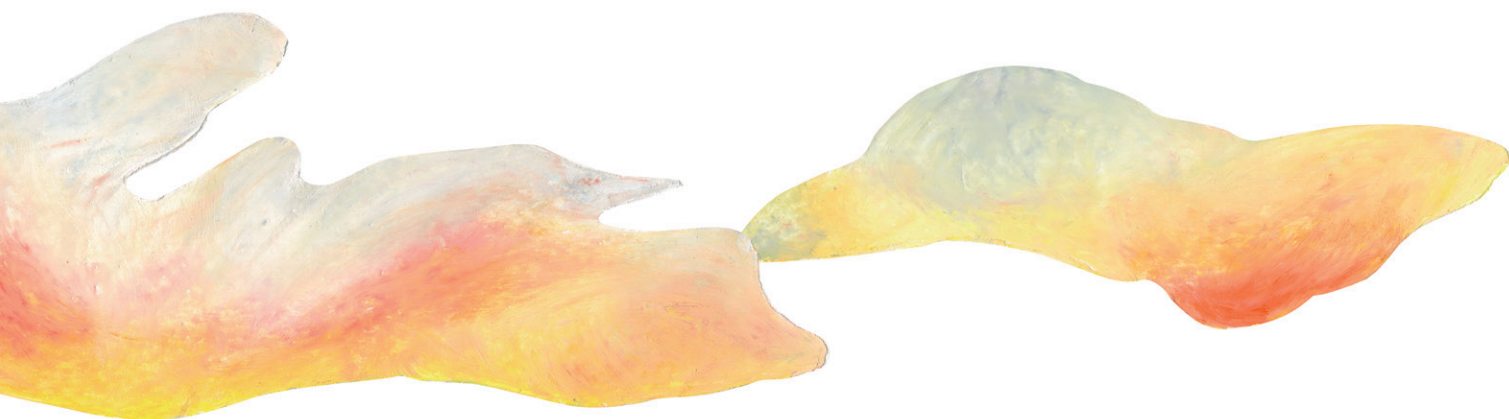
さよなら さよなら

さよなら 太陽たいよう

ばんごはんがまってるぞ

あしたの朝あさねすごすな

5



学がく
習しゅう

○それぞれの連れんで、だれが、どのように「さよなら」と言っていますか。

言葉ことばに着目ちやくもくしよう

連れんどうしをくらべて、同じところや、ちがうところを見つける。

○連れんと連れんのかんけいを考えながら、二つの詩うたを読み、気づいたことや考えたことを、友だちと話ししましょう。

こんな係がクラスにほしい

みなさんのクラスに、ほかにどんな係があったら、みんなが毎日の学校生活を楽しくすごせるようになるでしょうか。

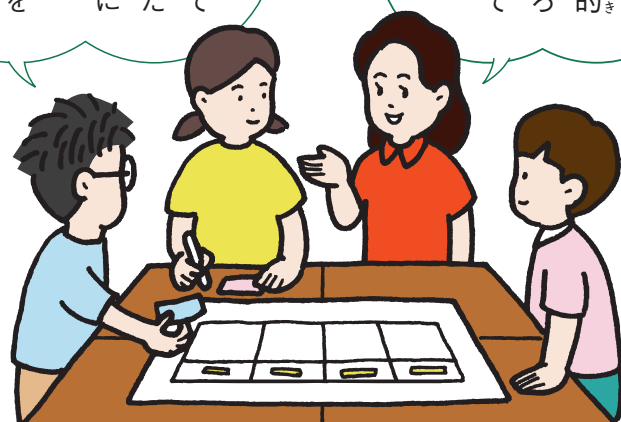


1 グループで話し合おう。

ほしい係と、その理由や目的、係の仕事を出し合い、しつもんだり考えを足したりしましょう。

おわらい係の、「みんなを明るく気持ちにする」という目的は、いいね。朝の会でもいろいろ話をするこのほかにも、できることはないかな。

たんじょう日の人をいわって歌うのはいかがかな。みんな、たんじょう日が来るのが楽しみにするよ。そうだとしたら、係の名前をかえて、――。



2 考えを整理して、まとめよう。

グループで話し合ったことを、整理しましょう。クラスのみんなに発表してもいいですね。

係の名前	げん きがかり 元気係
目的	みんなを明るく気持ちにする。
仕事 1	げつようび あさ かい 月曜日の朝の会で、おもしろい話をしたり、げいを見せたりする。
仕事 2	たんじょうび たんじょう日の友達をいわって、歌を歌う。



話し合って、考えを広げる

- 全員が意見をだし、たがいの考えをみとめながら話し合う。
- 出された意見について、しつもんだり、考えを足したりして、考えを広げる。



新漢字 158 ページ
係 がい
全員 イン
イン



読む

生活の中で読もう

ポスターを読もう

みの回りには、さまざまなポスターがあります。ポスターを読むときには、どんなことに気をつけるとよいでしょうか。

1 ポスターを見てみよう。

ポスターは、行事のあんない、マナーのよびかけ、商品のせんでんなど、知らせたいことをまいの紙にまとめたものです。言葉と絵、しやしんなどを組み合わせ、人を引きつけるくふうがされています。

▼「ポスターのれい」を見て、くふうしていると

10

5

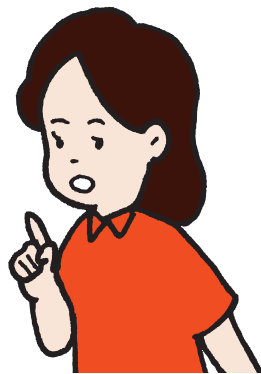
2 ポスターをくらべて読もう。

水野さんの住むちいきでは、「コスモス祭り」が行われます。このことを知らせるために、126・127ページの(ア)・(イ)のポスターが作られました。

①どちらのポスターのほうが、お祭りに行きたくなりますか。理由とともに、友だちと話しましよう。

(ア)のほうが、行ってみたくなったよ。それは、――。

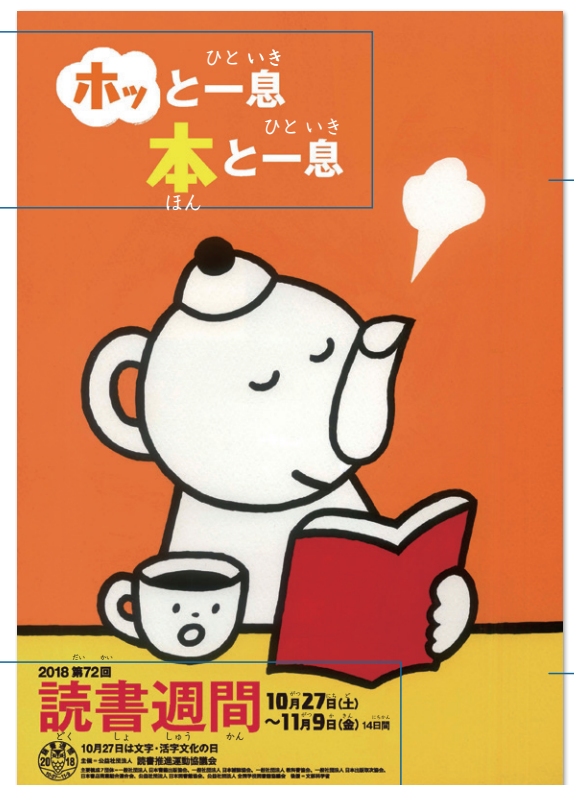
ぼくは、(イ)のほうが行きたくなったよ。(ア)とくらべて(イ)は、――。



5

○ポスターのれい

絵やしやしん



キャッチコピー

知らせたいよう

② 次のことを、整理しましよう。

- どちらにもあること
- どちらかだけにあること
- しめされ方がちがうところ

「図を使って考えよう」 163 ページ

③なぜ、②で整理したようなちがいがあるのでしようか。ポスターが作られた目的や、知らせたい相手を考えましよう。



たいせつ

作り手のくふうを考える

- だれに向けて作られているか、何を、どのようなふうとしているかを考える。
- 言葉と絵、しやしんなどを、どう組み合わせているか、考える。

10

キャッチコピー

相手を引きつけるようにくふうされた、みじかい言葉。

160 ページ

新漢字 158 ページ

祭り 158 ページ

(イ)

コスモス祭り

ようこそ、50万本の世界へ

10月19日(土)・20日(日)

会場 〇〇市中央公園 (〇〇インターから車で約5分)

もよおし ショー、出店、花火大会

〇〇インターチェンジ 〇〇自動車道路

中央公園前 〇〇市役所 〇〇市中央公園 〇〇駅

お問い合わせ: 〇〇市役所観光係 電話: 000 (000) 0000

(ア)

コスモス祭り

コスモス園に、みんな集まれ

10月19日(土)・20日(日)

会場 〇〇市中央公園 (コスモス園、広場)

もよおし ショー、出店、花火大会

●広場ステージ・タイムテーブル

19日(土)	13:00	〇〇中学校がっしょう部コンサート
	14:00	〇〇市和だいこの会 えんそう
	15:00	でんとうほぞん会 祭りばやし
20日(日)	10:00	コスモスくんショー
	11:00	写真コンテストひょうしょう式

はなびたいかい 花火大会 19日(土) 19:00~

コスモス園

〇〇市中央公園

ぼくと いっしょに 遊ぼう!

お問い合わせ: 〇〇市役所観光係 電話: 000 (000) 0000



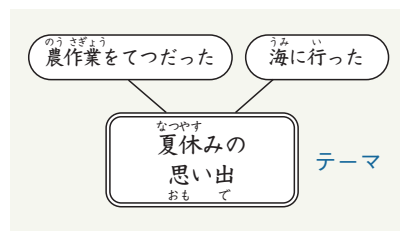
書くときに使う

書くことを考えるときは

みなさんは、ふだん、どのようにして書くことをえらんでいますか。図を使って考えを広げること、書くことがえらびやすくなります。

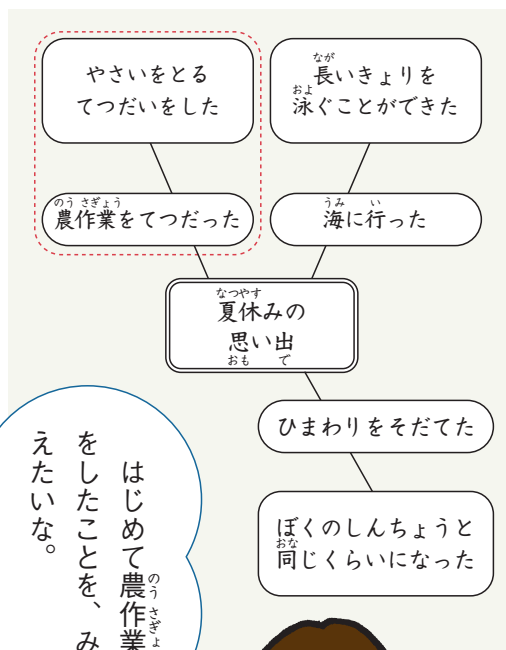
1 思いついたことを、線でつないで書き出そう。

はじめに、まん中にテーマを書きます。そして、線でつながりながら、思いついたことを次々に書き、考えを広げたりくわしくしたりしましょう。



2 書くことをえらぼう。

考えを広げたら、だれが読むのか、つたえたいことは何かを考えながら、書くことをえらびましょう。しるしをつけてもいいですね。



はじめて農作業のつたえたいことを、みんなにつたえたいな。



○えらんだことについて書きたい

ぼくの夏休みのいちばんの思い出は、おばあちゃんの家で農作業をつだったことです。ぼくは、毎朝、やさいをとりました。そして、とったやさいを、その日のうちに直売所に持っていきしました。おばあちゃんに、「直矢がとったやさいを買ってくれる人がいるんだよ。」と言われてから、もっと一生けんめいてつたうようになりました。来年も、農作業をつたいにいきたいです。

▼あなたの夏休みの思い出について、図を使ってくわしく書き出しましょう。その中から、友だちにつたえたいことをえらび、文章に書きましょう。



たいせつ

図を使って、何を書くかを考える

○ 思いついたことを、線でつながりながら書く。
○ くわしく書き出したことの中から、いちばんつたえたいことをえらぶ。



いかそう

話すときにも、図を使って考えを広げたり整理したりしましょう。
「図を使って考えよう」
「わたしの町のよいところ」

▼書いた文章を、友だちと読み合ひましょう。図を見ながら、どのようにして書くことをえらんだのかもつたえ合ひましょう。

新漢字 158 ページ
農作業 サギヨウ
ギヨウ

漢字の組み立て

漢字の多くは、いくつかの部分が組み合わさってできています。

次の「と」のカードを組み合わせて、漢字を作ってみましょう。



「へん」「つくり」

漢字には、右と左の部分に分けられるものがあります。

へん

語 詩 調 話

右の漢字は、どれも、二つに分けた左がわに「言」という形があります。ほかにも、左がわに「言」をもつ漢字を集めると、「記」「読」などのように、言葉に關係のある漢字が多いことが分かります。「言」のように、漢字の左がわにあつて、おおまかな意味を表す部分を、「へん」



10

5

つくり

漢字の右がわにおかれる部分を、「つくり」といいます。つくりが、おおまかな意味を表すこともあります。

たとえば、「顔」と「頭」の右がわは、どちらも「頁」です。これは、「おおがい」といい、もともと人の頭を大きくえがいた形です。そのため、おおがいのついた漢字は、頭部に關係があります。



頁

2

「動」「親」のつくりは、それぞれどんな意味を表しているでしょう。

159 ページ

時計

新漢字	鉄板	電柱	休・日	油・田	開港
新漢字	鉄板	電柱	休・日	油・田	開港
新漢字	鉄板	電柱	休・日	油・田	開港

新漢字

158 ページ

5

10

159 ページ

「きへん」「にんべん」「さんずい」のついた漢字は、それぞれ何に關係があるでしょう。

木 きへん

板 (鉄板・羽子板)
柱 (電柱・柱時計)

イ にんべん

休 (休日・夏休み)
係 (関係・図書係)

シ さんずい

油 (油田・油絵)
港 (開港・港町)

へんとつくりのほかにも、大きく二つの部分に分けられる漢字があります。

次のカードは、五つの漢字を、それぞれ二つの部分に分けたものです。組み合わせを考えて、元の漢字を作ってみましょう。



5

「かんむり」「あし」

漢字の上や下の方にあって、おおまかな意味を表す部分を、それぞれ「かんむり」「あし」といいます。

かんむり

あし

貝	心	雨	々	艹
(かい)	こころ	あめ	たけ	くさ
(かい)		むり	むり	むり
負 (負い目・勝負)	買 (買い手・売買)	感 (感知・予感)	悪 (悪者・悪事)	意 (意味・注意)
雪 (雪国・新雪)	雲 (雨雲・雲海)	笛 (草笛・汽笛)	筆 (絵筆・毛筆)	葉 (目葉・葉草)
花 (花火・開花)				

15

10

5

勝負	売買	感知	悪者	注意	新雪	雲海	草笛	目葉
ショウ	バイ	チ	ワル	チュウ	セツ	ウン	ブエ	グサリ
かつ			もの	ア	ソコ	ヤク	チ	ク
ショウ			シャ	ク			キ	

3

次の部分は、それぞれ何に関係のあ

心

159 ページ

「によう」「たれ」「かまえ」

次のような部分にも、その漢字のおお

によう

たれ

遠 (遠出・遠足)	近 (近道・近所)	通 (通り道・通学)	広 (広場・広大)	店 (店先・商店)	庫 (車庫・金庫)
えん	きん	つう	こう	しょう	きん
そく	しょ	がく	だい	てん	こ

10

4

次の部分は、それぞれ何に関係のあ

之

門

159 ページ

かまえ

門	口
もん	く
まえ	まえ
間 (間近・空間)	開 (海開き・開始)
国 (北国・外国)	園 (公園・田園)
図 (図書・図面)	

5

間近	車庫	広大
マ	コ	コウ

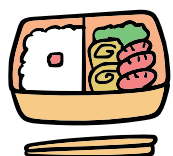
- ③ はねる音「ん (n)」の次に「a」「i」「u」「e」「o」や「y」が来るときは、読みまちがえないように、「n」の後に「'」をつけます。

ぜんいん → zen'in こんや → kon'ya

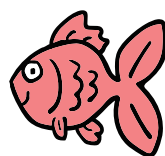
- ④ 人名や地名を書くとき、ふつうは、はじめの文字を大文字で書きます。地名などは、全部を大文字で書くこともあります。また、⁵ 言葉をつなぐしるしとして、「-」をつけることもあります。

Kitada Naoya Kurata Saya
TÔKYÔ Kagawa-ken

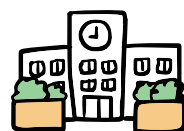
- 1 声に出して読みましょう。



bentô



kingyo



gakkô

10

- 2 ローマ字で書きましょう。

ほんや

しゃかい

らっこ

159 ページ

ローマ字入力

コンピュータに文字や記号を入れることを、「入力」といいます。¹⁵
[A] [M] [E] とキーをうつと、画面に「あめ」と出ます。「あめ」を「雨」「アメ」にするなど、入力した文字を漢字やかたかなにし、^{あらわ} 表すことを、「へんかん」といいます。

- ① 書き方が二つあるものは、どちらのうち方でも入力できます。

「S I」「S H I」→ し 「H U」「F U」→ ふ

- ② 「ち」「づ」「を」「ん」は、ふつう、次のようにうちます。

「D I」→ ち 「D U」→ づ

「W O」→ を 「N N」→ ん

5

- ③ のばす音は、平がなで書くときと同じようにうちます。

「R O U S O K U」→ ろうそく (書き表し方「rôsoku」)

- ④ つまる音は、「っ」の次の音のはじめの文字をかさねてうちます。

「K I P P U」→ きっぷ

- ⑤ のばす音があるかたかなの言葉は、 をうち、へんかんします。¹⁰

「N O - T O」→ ノート

- 3 次の言葉を、ローマ字で入力してみましょう。

- 電波 切手 帰社
- 放送 勉強 ジュース



「ぎしや」とうったたら、ちがう漢字を使った言葉がいくつか出てきた。



いかそう

コンピュータを使って調べたり、文章をまとめたりするときに、ローマ字で入力してみましょう。

15

新漢字

入カ

電波

帰社

放送

勉強

159 ページ

なみ

ほうははは
うるななす
る

ベン

ローマ字

大文字	ア段	イ段	ウ段	エ段	オ段			
小文字	A/a	I/i	U/u	E/e	O/o			
ア行	あ a	い i	う u	え e	お o			
カ行	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きょ kyo
サ行	さ sa	し si [shi]	す su	せ se	そ so	しゃ sya [sha]	しゅ syu [shu]	しょ syo [sho]
タ行	た ta	ち ti [chi]	つ tu [tsu]	て te	と to	ちゃ tya [cha]	ちゅ tyu [chu]	ちょ tyo [cho]
ナ行	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	にょ nyo
ハ行	は ha	ひ hi	ふ hu [fu]	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひょ hyo
マ行	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みょ myo
ヤ行	や ya	(い) (i)	ゆ yu	(え) (e)	よ yo			
ラ行	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りょ ryo
ワ行	わ wa	(い) (i)	(う) (u)	(え) (e)	を (o) [wo]			
ン	ん n							
ガ行	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎょ gyo
ザ行	ざ za	じ zi [ji]	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ zya [ja]	じゅ zyu [ju]	じょ zyo [jo]
ダ行	だ da	ぢ (zi) [di]	づ (zu) [du]	で de	ど do	ぢゃ (zya) [dya]	ぢゅ (zyu) [dyu]	ぢょ (zyo) [dyo]
バ行	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びょ byo
パ行	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴょ pyo

[]の中の書き方も使うことができる。()は、かさねて出してあるもの。

ローマ字の表の見方

137ページのローマ字の表を見て、たしかめましょう。

- ① ア行の音は、1字で表されます。
- ② カ行から下の音は、2字いじょうが組み合わされています。
 - 表をたてに見てみましょう。ア段の音には、全部「a」がついて
 - います。イ段からオ段の音はどうか、たしかめましょう。
 - 表を横に見てみましょう。カ行の音には、全部「k」がついてい
 - ます。サ行は「s」、タ行は「t」と、決まった字がついています。
- ③ 「し」や「ち」のように、書き方が二つあるものがあります。

しま → sima [shima] みち → miti [michi]

- ④ 「きゃ」「きゅ」「きょ」などの音は、「kya」「kyu」「kyo」のように、3字で書き表します。

ちやわん → tyawan でんしゃ → densya

書き表し方の決まり

- ① のばす音は、「おかあさん」→「okâsan」のように、ふつう、「a」「i」「u」「e」「o」の上に「^」をつけて書き表します。

おじいさん → ozîsan ろうそく → rôsoku

- ② つまる音は、「きっぷ」→「kippu」のように、次に来る音のはじめの文字をかさねて書き表します。

しっぽ → sippo がっきゅう → gakkyû

学習を広げよう



- たしかめよう
- かだいの見つけ方、調べ方
 - 平がなとかたかな



図を使って考えよう	言葉のたから箱	学習に用いる言葉	この本で習う漢字	これまで習った漢字	インタビュー 知りたいことをきく	手紙を送ろう	本の世界を広げよう	「たいせつ」のまとめ
163	161	160	154	150	148	147	144	140

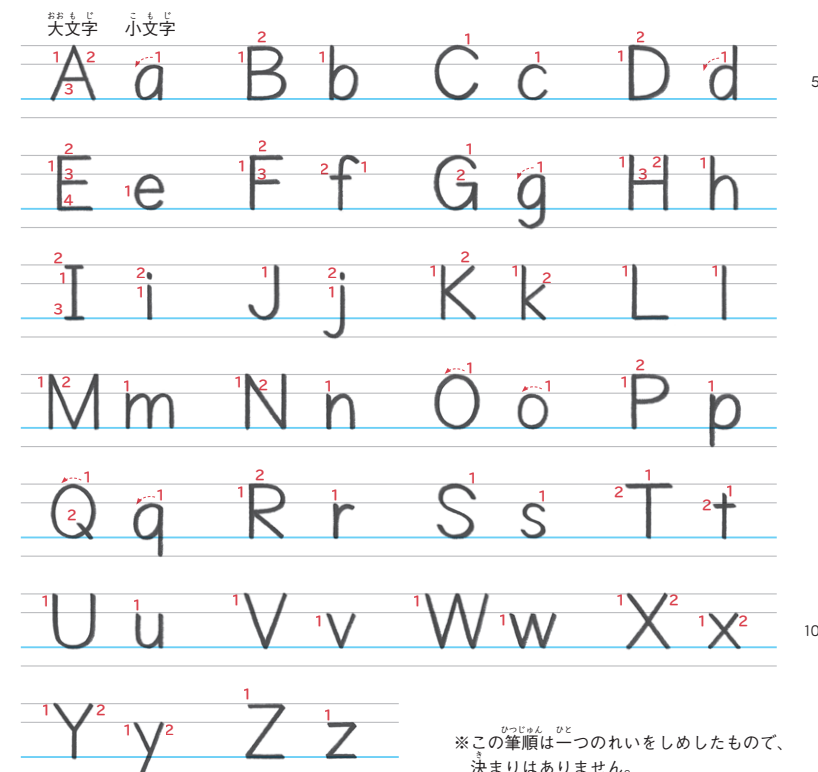


ローマ字



日本語は、平がな・かたかな・漢字のほかに、アルファベットのいくつかを使って、書き表すことができます。このような書き表し方を、ローマ字表記といいます。

■ アルファベット



※この筆順は一つのれいをしめたもので、決まりはありません。

アルファベットの
書き方



「たいせつ」のまとめ

この本で学習する、大切なことをまとめています。
 ・たしかめたり、他の学習で使ったりしましょう。
 ・くうらんには、それぞれの学習をふり返ってみて、自分が大切だと思ったことを書きましょう。



他に、大事なと思った
 ことはありますか。



話す・聞く

話を聞いて、知りたいことをしつもんする 47 ページ

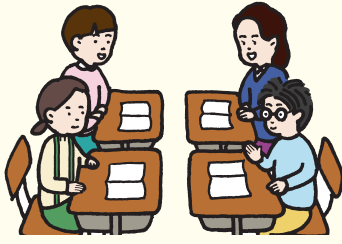
話す人の方を見ながら、話の中心に気をつけて聞く。

自分がとくに知りたいことをはっきりさせ、どのようにしつもんするとよいかを考える。

話し合って、考えを広げる 123 ページ

全員が意見を出し、たがいの考えをみとめながら話し合う。

出された意見について、しつもんしたり、考えを足したりして、考えを広げる。



書く

読みかえして、文章をととのえる

相手にとってひつようなことや、自分がつたえたいことが書かれているかをたしかめる。

まちがいや分かりにくいところはないか、相手に合わせた言葉を使っているかをたしかめる。

読む人のことを考えて、書くことをえらぶ 102 ページ

メモに書いておいたことの中から、自分がとくに読みたいことをえらぶ。

読む人が知っていることと知らないこと、知りたいだろうことを考える。

図を使って、何を書くかを考える

思いついたことを、線でつながながら書く。

くわしく書き出したことの中から、いちばんつたえたいことをえらぶ。



他に、大事なと思った
 ことはありますか。



せつめいする文章

文章全体の組み立てをとらえる

64 ページ

- 文章は、「はじめ」「中」「おわり」などの大きなまとまりに分けられる。大きなまとまりは、一つ、またはいくつかの段落でできている。
- 一つ一つの段落には、それぞれ、ひとまとまりのないようが書かれている。
- 「問い」と「答え」に気をつけると、文章全体の組み立てや、段落の中心をとらえることができる。

作りのくふうを考える

125 ページ

- だれに向けて作られているか、何を、どのようにつたえようとしているかを考える。
- 言葉と絵、しゃしんなどを、どう組み合わせるか、考える。



物語

言葉に着目して、

登場人物の気持ちをたしかめる

34 ページ

- 気持ちをそのままあらわす言葉からたしかめる。
- したことや言ったことをあらわす言葉から、登場人物の様子を考える。
- 場面の様子をあらわす言葉から、登場人物がどうかんじているかを考える。

登場人物がどのようにへんかしたかを考える

90 ページ

- どんな出来事がおこったか、登場人物がどのような様子や気持ちなのかをたしかめる。
- 出来事がおこる前と後で、登場人物の考え方や気持ちがどうか変わったかを考える。
- 登場人物の考え方や気持ちのへんかは、言ったことや、人物の様子を表す言葉からそうぞうすることができ。



他に、大事だと思ったことはありますか。

〈せつめいする文章〉

物語



本の世界を 広げよう



読み終わった本には、
□にしるしをつけましょう。

ものがたり えほん 物語・絵本



としよかん
ライオン
ミシエル・ヌードセン 作
ケビン・ホークス 絵
福本 友美子 訳
ある日、図書館に、ライオンがやって来ました。ライオンは、本の読み聞かせの時間が大好きなようです。

さくら村は大さわぎ



三年生のハナが住むさくら村は、さくらがいつぱいのどかな村。ゆかいな出来事が、次々と起こります。

朽木 祥作 作
大社 玲子 絵



くまの
パディントン
マイケル・ボンド 作
ベギー・フォートナム 画
松岡 享子 訳
親切なブラウン一家に引き取られた、くまのパディントン。はじめての人間とのくらしは、大さわぎのれんぞくです。



どんなかんじかなあ
友だちのまりちゃん、目が見えません。目が見えないって、どんな感じかなあ。ぼくは、目をつぶって考えてみました。

どんなかんじかなあ

中山 千夏 文
和田 誠 絵

ねこと王さま



おしろをなくした王さまは、友だちのねこといっしょに、おしろ横町にある小さな家へ引っこしました。

ニック・シヤラット 作・絵
市田 泉 訳

かがく 科学・ちしき



えほん図鑑 へんてこ!
みずのぜつめつどうぶつ
はた こうしろう 作
今ではなくなつてしまった、ぜつめつ動物たち。へんてこな生き物がいつぱいの昔の海を、たのびてみましょう。

えほん図鑑 へんてこ!

はた こうしろう 作



辞書びきえほん 科学のふしぎ
「なぜ、あくびが出るの。」「いろいろな色があるのは、どうして」など、身の回りのふしぎについて、調べられます。

辞書びきえほん 科学のふしぎ

陰山 英男 監修



しっぽがない!
コアラとヒトのしっぽのなぞ
コアラのふくろいくんと、ヒトのあたちさんは、自分たちにしっぽがないと気づき、力を合わせてしっぽを研究しました。

しっぽがない!

コアラとヒトのしっぽのなぞ
犬塚 則久 文
大島 裕子 絵



うみのやまのダンゴムシ
「そうじ屋さん」とよばれる、ダンゴムシ。海や山、町には、しゅるいのちがうダンゴムシがくらしています。

うみのやまのダンゴムシ

皆越 ようせい 写真・文



ポリぶくろ、1まい、すてた
ミランダ・ボール 文
エリザベス・スズノーン 絵
藤田 千枝 訳
日本でも進んでいる、ポリぶくろのリサイクル。アフリカには、いち早くリサイクルに取り組んだ人たちがいました。

ポリぶくろ、1まい、すてた

ミランダ・ボール 文

そうだったのか! しゅんかん図鑑



シャボン玉が消えるときなど、物が動くしゅんかんをさつえいしてみると、気づかなかったものが見えてきました。

そうだったのか! しゅんかん図鑑

伊知地 国夫 写真

ことば 詩・言葉



日本語オノマトペのえほん
「にこにこ」「げらげら」は、わらう様子を表す「オノマトペ」です。日本語には、どんなオノマトペがあるのでしょうか。

日本語オノマトペのえほん

高野 紀子 作



貨物船のはなし
自動車、コンテナ、石油、食料など、貨物船は、いろいろなものを、世界のあちこちへ運んでいます。

貨物船のはなし

柳原 良平 作



幼い子の詩集 パタポン①
美しいけしきがうかぶ詩。思わずうたってしまふ詩など、いろいろな詩がつまっています。声に出して読んでみましょう。

幼い子の詩集 パタポン①

田中 和雄 編



俳句ステップ!
おおぎやなぎ ちか 作
イシヤマ アズサ 絵
引っこみじあんの七実と、同級生の早知恵。二人をつないでくれたのは、遠足のときに作った俳句でした。

俳句ステップ!

おおぎやなぎ ちか 作



町にきたヘラジカ
フィル・ストング 作
クルト・ヴィーゼ 絵
瀬田 貞二 訳
ある日、イバールの父さんの馬小屋から、「ボーン」という音がしました。おそろおそろのぞいてみると――。

町にきたヘラジカ

フィル・ストング 作

ココロ屋



先生にしかかれてばかりのぼく。自分のココロを、みんなにすかれるべつココロに入れかえられたらいいのに。

梨屋 アリ 作
菅野 由貴子 絵



よりよい社会について考えることができる本



□ 未来のために学ぶ
四大公害病
除本 理史 監修



□ せかいでさいしよに
ズボンをはいた女の子
キース・ネグレイ 作
石井 睦美 訳



□ こどものための
防災教室
(シリーズ)
今泉 マユ子 著



□ きみはきみだ
斉藤 道雄 文・写真



□ しごとのふしぎ
なぜ? どうして?
藤田 晃之 監修



読書を楽しもう

● 読書ゆうびんを出そう

おもしろかった本をはがきなどに書いて、友達と知らせ合いましょう。

「ぞうのミニカキ」(まど・みちお詩)



まどさんの詩を読むと、身の回りの物がちがって見えてくるよ。ぜひ一度読んでみて。

● 本を読んで、絵をかこう

本の中のすきな場面や、心にのこったところを絵にしましょう。



「メアリー・ポピンズ」



エスディー・ジーズ S D Gs (じぞくかのうな開発もくひょう) の
たっせいにむけて

手紙を送ろう

手紙を送るときは、あて名を正しく書きましょう。

相手の住所

右がわに書く。二行になるときは、区切りのよいところで行をかえる。

相手の名前

中央に、少し大きめに書く。会社や団体に出すときには、「様」の代わりに「御中」と書く。

自分の住所と名前

はがきの場合は切手の下に、ふうしよの場合はふうとうのうらに、相手の住所や名前より小さめの字で書く。

はがき

郵便はがき

194-0001

東京都町田市つくし野五丁目三ー
山田マンション一〇三
山田 正一様

東京都町田市森野六丁目四ー
森田のりこ

94-0022

はがきを書くとき

はがきは、ふうとうに入れた手紙(ふうしよ)よりも、気軽な手紙です。ただし、ふうたは大きさが決まっています、書けるりようがふうしよよりも少なくなります。大事なことを落とさずに書きましょう。

ふうしよ

194-0001

東京都町田市つくし野五丁目三ー
山田マンション一〇三
山田 正一様

東京都町田市森野六丁目四ー
森田のりこ

94-0022

インタビュー

知りたいことをきく

物事について調べる方法の一つに、「インタビュー」があります。これは、人に会って、知りたいことについて話を聞くことです。インタビューの方法をたしかめましょう。

インタビューをするまで

1 インタビューをする相手を決める。

調べたいことに合わせて、インタビューをする人を決める。

町のためにはたくさん人について、調べて発表することになった。消防士さんにインタビューしよう。



2 しつもんすることを考える。

ききたいことを考え、メモしておく。

三年一組 土川りえ

インタビューをする相手

—— ひかり消防しよの方

- ① 何時から何時まではたらいっているか。
- ② 出勤にどのくらいの時間がかかるか。
- ③ たいへんなことは何か。
- ④ 仕事中に気をつけていることは何か。
- ⑤ 火事をふせぐために、わたしたちにてきることは何か。

3 インタビューを申しこむ。

インタビューをしたい相手におねがいをし、相手の都合に合わせて日時を決める。

インタビューをするとき

4 インタビューをする。

決めた日時に会いに行き、インタビューをする。



土川 こんにちは。わたしは、ひかり小学校三年の土川です。
いま、町のためにはたくさん人について調べています。よろしくおねがいます。

- あいさつをして、名前を言う。
- 何をききにきたのかをつたえる。

土川 消防士の南さん
消防士の南さん
わたしたちは交代で、二十四時間はたらいっていますよ。
どのように交代しているのですか。

- メモをもとに、順序よくたずねる。
- 大事なことはメモを取る。
- 分からないことは、たしかめる。

土川 消防士の南さん
消防士の南さん
次のしつもんです。出勤には、どのくらいの時間がかかりますか。
れんらくが来てから、一分で出勤します。
...
しつもんは、これで終わりです。

- 相手を見て、話を聞く。

5 お礼をつたえる。

話を聞かせてもらったことへのお礼を、ていねいにつたえる。

□ ₁ 五 ④ ゴ いつつ	□ ₂ 古 ⑤ コ ふるすい	□ ₂ 戸 ④ と △コ	こ	□ ₂ 原 ⑩ はら ゲン	□ ₂ 言 ⑦ △ゲン △ゴン △こと いう	□ ₂ 元 ④ △ゲン △ガン △もと	□ ₁ 見 ⑦ △ケン みえる みえる みせる	□ ₁ 犬 ④ △ケン いぬ	□ ₁ 月 ④ ゲツ つき	□ ₂ 計 ⑨ ケイ はかる はからう
□ ₂ 光 ⑥ △コウ ひかり	□ ₂ 交 ⑥ コウ まじわる まじえる まざる △(かう) かわす	□ ₂ 交 ⑥ コウ まじわる まじえる まざる △(かう) かわす		□ ₂ 広 ⑤ △コウ ひろまる ひろめる ひろがる ひろげる	□ ₂ 公 ④ コウ △(おおよけ)	□ ₂ 工 ③ △コウ △ク くち	□ ₁ 口 ③ △コウ △ク くち	□ ₂ 語 ⑭ △ゴ かたる かたらう	□ ₂ 後 ⑨ △ゴ △コウ △のち うしろ あと △(おくれる)	□ ₂ 午 ④ ゴ
□ ₂ 今 ④ コン いま	□ ₂ 黒 ⑪ コク くろ △(くろい)	□ ₂ 国 ⑧ コク くに	□ ₂ 谷 ⑦ △(コク) たに	□ ₂ 合 ⑥ △ガツ △ゴウ あわせる あわす あう △(カッ)	□ ₂ 黄 ⑪ △(コウ) △オウ き △(こ)	□ ₂ 高 ⑩ △コウ たかい たか たかまる たかめる	□ ₁ 校 ⑩ コウ	□ ₂ 行 ⑥ △コウ ギョウ △(アン) いん △(やく)	□ ₂ 考 ⑥ △コウ かんがえる	
□ ₂ 止 ④ △シ とまる △(とめる)	□ ₁ 子 ③ △シ こ	し	□ ₂ 算 ⑭ サン	□ ₁ 山 ③ サン やま	□ ₁ 三 ③ サン み					

□ ₂ 羽 ⑥ ウ はね	□ ₁ 右 ⑤ ユウ みぎ	う	□ ₂ 引 ④ イン ひく	□ ₁ 一 ① イチ ひとつ	い	□ ₂ 夏 ⑩ カ なつ	□ ₂ ツク らん おと			
□ ₁ 音 ⑨ オン ね	□ ₁ 王 ④ オウ おう	お	□ ₂ 遠 ⑬ エン とおい	□ ₂ 園 ⑬ エン (その)	□ ₁ 円 ④ エン まるい	え	□ ₂ 雲 ⑫ ウン くも	□ ₁ 雨 ⑧ ウ あめ		
□ ₂ 家 ⑩ ケカ いえ	□ ₂ 夏 ⑩ カ なつ	□ ₂ 科 ⑨ カ か	□ ₁ 花 ⑦ カ はな	□ ₂ 何 ⑦ ナニ なんに	□ ₁ 火 ④ ヒカ (ほ)		□ ₁ 下 ③ ゲカ した	か		
□ ₂ 角 ⑦ カク つの	□ ₂ 外 ⑤ ガイ はづれる	□ ₁ 貝 ⑦ カイ かい	□ ₂ 絵 ⑫ エカイ え	□ ₂ 海 ⑨ カイ うみ	□ ₂ 会 ⑥ カイ あひ	□ ₂ 回 ⑥ カイ まわ	□ ₂ 画 ⑧ ガク え	□ ₂ 歌 ⑭ カ うた		
□ ₂ 汽 ⑦ キ き	□ ₁ 気 ⑥ ケキ け	き	□ ₂ 顔 ⑩ ガン かお	□ ₂ 岩 ⑧ ガン いわ	□ ₂ 丸 ③ ガン まる	□ ₂ 間 ⑫ カン あひだ	□ ₂ 活 ⑨ カツ か	□ ₂ 楽 ⑬ ガク たのしみ	□ ₁ 学 ⑧ ガク まなぶ	
□ ₂ 強 ⑪ キョウ (つよ)	□ ₂ 京 ⑧ キョウ (けい)	□ ₂ 魚 ⑪ ギョ さかな	□ ₂ 牛 ④ ギウ うし	□ ₁ 休 ⑥ キウ やす	□ ₂ 弓 ③ キウ ゆみ	□ ₁ 九 ② キュウ この	□ ₂ 帰 ⑩ キ かえ	□ ₂ 記 ⑩ キ しる		
□ ₂ 形 ⑦ ケイ かたち	□ ₂ 兄 ⑤ ケイ あに	け	□ ₁ 空 ⑧ クウ から	く	□ ₁ 金 ⑧ キン かね	□ ₂ 近 ⑦ キン ちかい	□ ₁ 玉 ⑤ ギョク たま	□ ₂ 教 ⑪ キョウ おし		

これまでに習った漢字

△は、これから習う読み方。()は、小学校では習わない読み方。

<div>馬</div> <div>□₂ ⑩ △ま うま</div>	は	<div>年</div> <div>□₁ ⑥ とし ネン</div>	ね	<div>入</div> <div>□₁ ② △ニ ニユウ はいる いる</div>	<div>日</div> <div>□₁ ④ かひ ニツ</div>	<div>肉</div> <div>□₂ ⑥ ニク</div>	<div>二</div> <div>□₁ ② 「ふた 二 つ</div>	に	<div>南</div> <div>□₂ ⑨ △ナン みなみ (ナ)</div>	<div>内</div> <div>□₂ ④ うち (ダイ ナイ)</div>	な
<div>父</div> <div>□₂ ④ ちち △フ</div>	ふ	<div>百</div> <div>□₁ ⑥ ヒヤク</div>	ひ	<div>番</div> <div>□₂ ⑫ バン</div>	<div>半</div> <div>□₂ ⑤ △な はん なかば</div>	<div>八</div> <div>□₁ ② やち やつ よう</div>	<div>麦</div> <div>□₂ ⑦ むぎ (バク)</div>	<div>白</div> <div>□₁ ⑤ △ハク しろい (ビヤク)</div>	<div>買</div> <div>□₂ ⑫ かう △バイ</div>	<div>売</div> <div>□₂ ⑦ うれる △バイ</div>	
<div>方</div> <div>□₂ ④ かた</div>	<div>母</div> <div>□₂ ⑤ はは △ホ</div>	<div>歩</div> <div>□₂ ⑧ △ホ あるく (フ)</div>	ほ	<div>米</div> <div>□₂ ⑥ △マイ こめ</div>	へ	<div>聞</div> <div>□₂ ⑭ きく (モン ブン)</div>	<div>文</div> <div>□₁ ④ ぶん (モン フ)</div>	<div>分</div> <div>□₂ ④ ぶん △フ</div>	<div>風</div> <div>□₂ ⑨ かぜ △フウ (フ)</div>		
<div>明</div> <div>□₂ ⑧ △メイ あかるい △ア カヨウ</div>	<div>名</div> <div>□₁ ⑥ な △メイ ナ</div>	め	<div>万</div> <div>□₂ ③ (マン バン)</div>	<div>妹</div> <div>□₂ ⑧ いもうと (マイ)</div>	<div>毎</div> <div>□₂ ⑥ マイ</div>	ま	<div>本</div> <div>□₁ ⑤ △ホン もと</div>	<div>木</div> <div>□₁ ④ △ボク こぎ</div>	<div>北</div> <div>□₂ ⑤ きた △ホク</div>		
<div>曜</div> <div>□₂ ⑮ ヨウ</div>	<div>用</div> <div>□₂ ⑤ △もち ヨウ いる</div>	よ	<div>野</div> <div>□₂ ⑪ の △ヤ</div>	<div>夜</div> <div>□₂ ⑧ よる △ヤ</div>	や	<div>門</div> <div>□₂ ⑧ (カ ン)</div>	<div>目</div> <div>□₁ ⑤ △モク (ボク)</div>	<div>毛</div> <div>□₂ ④ け △モウ</div>	<div>も</div>	<div>鳴</div> <div>□₂ ⑭ なく △メイ ならす</div>	
<div>六</div> <div>□₁ ④ むっ △ロク むっ</div>	ろ	<div>林</div> <div>□₁ ⑧ はやし △リン</div>	<div>力</div> <div>□₁ ② ちから △リ ヨク</div>	<div>立</div> <div>□₁ ⑤ たつ △リツ (リュウ)</div>	<div>理</div> <div>□₂ ⑪ り</div>	<div>里</div> <div>□₂ ⑦ さと △リ</div>	り	<div>来</div> <div>□₂ ⑦ くる ライ きたす (キタ ス)</div>	ら		
								<div>話</div> <div>□₂ ⑬ はなす △ワ はなし</div>	わ		

正 ① ⑤ △セイ 「た だ し い」 △ま さ	せ	数 ② ⑬ スウ (ス) かず かぞ える	水 ① ④ スイ みず	図 ② ⑦ トズ (は かる)	す	人 ① ② ニン ひと	親 ② ⑯ シン おや 「し た し む」	新 ② ⑬ シン あた らしい △あ ら た △い	森 ① ⑫ シン もり	心 ② ④ シン こころ			
石 ① ⑤ △セキ △シャク (コク)	夕 ① ③ ゆう (セキ)	晴 ② ⑫ △セイ 「は れる」 はらす	星 ② ⑨ △セイ 「シ ョウ ウ」 ほし	青 ① ⑧ △セイ 「あ おい」 (シ ョウ ウ)	声 ② ⑦ セイ (シ ョウ ウ) (こ わ)	西 ② ⑥ △セイ △サイ にし	生 ① ⑤ セイ ショウ ウ						
組 ② ⑪ △ソ くみ	そ	前 ② ⑨ ぜん まえ	線 ② ⑮ せん	船 ② ⑪ △セン ふね △ふ な	先 ① ⑥ せん さき	川 ① ③ かわ (セン)	千 ① ③ ち せん	雪 ② ⑪ △セツ ゆき	切 ② ④ セツ (サイ) きる きれる	赤 ① ⑦ △セキ (シャク) 「あ か い き る」 あから める			
台 ② ⑤ △ダイ タイ	大 ① ③ ダイ 「お お き に」	体 ② ⑦ タイ (タイ) からだ	太 ② ④ △タイ 「ふ と い る」 △タ	多 ② ⑥ △タ おおい	た	村 ① ⑦ △ソン むら	足 ① ⑦ ソク 「た る る」 た る	草 ① ⑨ ソウ くさ	走 ② ⑦ △ソウ はしる	早 ① ⑥ △ソウ (サツ) 「は や い ま る」 はや める			
朝 ② ⑫ △チ ョウ ウ あさ	鳥 ② ⑪ △チ ョウ ウ とり	長 ② ⑧ チ ョウ ウ なが い	町 ① ⑦ チ ョウ ウ まち	昼 ② ⑨ △チ ユウ ウ ひる	虫 ① ⑥ チ ユウ ウ むし	中 ① ④ ジュ ウ ウ なか	茶 ② ⑨ チャ (サ)	竹 ① ⑥ △チ ク たけ	知 ② ⑧ △チ しる	池 ② ⑥ △チ いけ	地 ② ⑥ △チ シ	ち	男 ① ⑦ △ダン ナン おと こ
電 ② ⑬ デン	田 ① ⑤ △デン た	点 ② ⑨ テン	店 ② ⑧ テン みせ	天 ① ④ テン (あ め) あま	弟 ② ⑦ △テイ (タイ) ダイ おと うと	て	通 ② ⑩ ツウ 「と お す る」 △か よ う	つ	直 ② ⑧ △チ ョク シキ 「な お す る」 △た だ に				
読 ② ⑭ △ドク トク よむ	道 ② ⑫ △ドウ (トウ) みち	同 ② ⑥ △ドウ おな じ	頭 ② ⑯ △ス (ト) あたま (かし ら)	答 ② ⑫ △トウ 「こ た え る」 こたえ	東 ② ⑧ △トウ ひがし	当 ② ⑥ トウ 「あ て る」 あてる	冬 ② ⑤ △トウ ふゆ	刀 ② ② △トウ かた な	土 ① ③ トド つち	と			

この本で習う漢字

(一)は、しょうがつこう小学校ではなら習わないよ読み方。かた

[illegible][illegible]

88 感 13画 かん	86 路 13画 ろ	82 岸 8画 かみ	80 開 12画 かい	77 緑 14画 りょく	76 悲 12画 ひ	74 坂 7画 さか
カン 感感感感感感感 感じる 感性	じ 路路路路路路路 路線 道路 家路	ガン 岸岸岸岸岸岸岸 海岸 対岸	カイ 開開開開開開開 開店 開会	みどり (ロク) リョク 緑緑緑緑緑緑緑 緑茶	かなしい かなしむ 悲鳴 悲しい物語 ひどく悲しむ	(ハン) 坂坂坂坂坂坂坂 ゆるい坂道
95 泳 8画 およぐ	こそこあと言葉を 使いこなそう	93 部 11画 ぶ	93 整 16画 せい	92 陽 12画 よう	91 区 4画 く	89 対 7画 たい
エイ 泳泳泳泳泳泳泳 水泳 遠泳		一部 全部	セイ ととのえる 調整 調整 ととのう 室内が整う	ヨウ 陽陽陽陽陽陽陽 太陽 陽気	区域 区域 区域 区域 区切る 地区	タイ 対対対対対対対 対話 反対
100 商 11画 しょう	100 品 9画 しな	仕事のくふう、見つけたよ	95 申 5画 もうす	95 童 12画 どう	95 助 7画 たすける	95 練 14画 ねる
シヨウ 商商商商商商商 商品 商売	ヒン 品品品品品品品 食品 作品 手品		申申申申申申申 (シン)	童童童童童童童 (わらべ)	ジョ たすける 人々を助ける たすかる 運よく助かる (すけ)	レン 練習 練習 こなを練る
108 植 12画 うわる	本で知ったことをクイズに しよう 鳥になったきょうりゅうの話	103 銀 14画 ギン	103 筆 12画 ふて	103 倍 10画 バイ	103 去 5画 キヨ	101 客 9画 キャク
シヨク 植植植植植植植 植物		銀行 銀色	ヒツ 毛筆 筆者 一筆書き	二倍 何倍	去去去去去去去 去年 過去 雨雲が去る	式式式式式式式 入学式

53

全

6画

ぜんたい
全体と中心

ぜん 全
ま 全
た 全
く 全
す 全

ま 全
た 全
く 全
す 全

ま 全
た 全
く 全
す 全

51

局

7画

きょく 局

きょく 局
きょく 局
きょく 局
きょく 局

51

球

11画

きゅう 球

きゅう 球
きゅう 球
きゅう 球
きゅう 球

51

仕

5画

し 仕

し 仕
し 仕
し 仕
し 仕

51

農

13画

のう 農

のう 農
のう 農
のう 農
のう 農

51

秒

9画

びょう 秒

びょう 秒
びょう 秒
びょう 秒
びょう 秒

51

氷

5画

ひょう 氷

ひょう 氷
ひょう 氷
ひょう 氷
ひょう 氷

57

速

10画

そく 速

そく 速
そく 速
そく 速
そく 速

56

界

9画

かい 界

かい 界
かい 界
かい 界
かい 界

56

世

5画

せい 世

せい 世
せい 世
せい 世
せい 世

56

昔

8画

せき 昔

せき 昔
せき 昔
せき 昔
せき 昔

55

表

8画

ひょう 表

ひょう 表
ひょう 表
ひょう 表
ひょう 表

53

遊

12画

ゆう 遊

ゆう 遊
ゆう 遊
ゆう 遊
ゆう 遊

66

運

12画

うん 運

うん 運
うん 運
うん 運
うん 運

59

定

8画

てい 定

てい 定
てい 定
てい 定
てい 定

59

安

6画

あん 安

あん 安
あん 安
あん 安
あん 安

59

鉄

13画

てつ 鉄

てつ 鉄
てつ 鉄
てつ 鉄
てつ 鉄

58

指

9画

さし 指

さし 指
さし 指
さし 指
さし 指

57

横

15画

よこ 横

よこ 横
よこ 横
よこ 横
よこ 横

74

向

6画

こう 向

こう 向
こう 向
こう 向
こう 向

74

拾

9画

しゅう 拾

しゅう 拾
しゅう 拾
しゅう 拾
しゅう 拾

73

具

8画

ぐ 具

ぐ 具
ぐ 具
ぐ 具
ぐ 具

69

住

7画

じゅう 住

じゅう 住
じゅう 住
じゅう 住
じゅう 住

69

送

9画

そう 送

そう 送
そう 送
そう 送
そう 送

67

予

4画

よ 予

よ 予
よ 予
よ 予
よ 予

ローマ字

答え

134

波

8画

波波波波波波

ハ 電波

なみ 波が高い

134

放

8画

放放放放放放

ホウ 放送 放出

はなす 魚を放す

はなつ 矢を放つ

はなれる 放れ馬

ほうる 放りなげる

134

勉

10画

勉勉勉勉勉勉

ベン 勉強 勉学

国語辞典を使う

3 「合いに」 ↓ 「会いに」、

なだらか

漢字の音と訓

1 公園 (音・音、水)

毎一分 (音・音、話)

毎日 (音・音、近道 (訓・訓))

こそあど言葉を使いこなそう

2 そこ (新しい) プール

そんな あいのつもりで練習

あれ 童話の読み聞かせの会

に申しこみました。

漢字の組み立て

1 木、人、水

2 力、見る

3 竹、心

4 進む動きや道、門

ローマ字

2

hon'ya
syakai
(shakai)
rakko

2

漢字の読みかえ

1

木、人、水

2

力、見る

3

竹、心

4

2

漢字の読みかえ

1

木、人、水

2

力、見る

3

竹、心

4

118 両 6画	116 都 11画		115 死 6画	111 化 4画	108 集 12画
両両両両両 リヨウ 両手 両親	都都都都都 ツ ト 東京都 都会 みやこ 住めば都		死死死死死 シ しぬ 死者 生死 ベツトが死ぬ	化化化化 カ (ケ) 化石 文化 ばける 人に化ける ばかす 人を化かす	集集集集集 シュウ あつまる 集合 詩集 あつめる 広場に集まる あつめる 数多く集める (つどう)
わたしと小鳥とずっと 夕日がせなかをおしてくる					
125 祭 11画	123 員 10画	122 係 9画	こんな係がクラスにほしい		121 負 9画
祭祭祭祭祭祭祭 サイ まつる まつる まつり 祖先を祭る 日本の祭り	員員員員員員員 イン 全員 店員	係係係係係係係 ケイ 関係 主語に係る かかると書係			負負負負負負負 フ まける 勝負 相手に負ける まかす 言い負かす おう きずを負う
ポスターを読もう					
131 港 12画	131 油 8画	131 柱 9画	131 板 8画	漢字の組み立て	
港港港港港港港 コウ 開港 空港 みなと 港町	油油油油油油油 ユ あぶら 油田 油絵 石油	柱柱柱柱柱柱柱 チュウ はしら 電柱 鉄柱 柱時計	板板板板板板板 バン 鉄板 合板 いた 黒板 板の間	業業業業業業業 ギョウ (ゴウ) 農作業 (わざ)	
書くことを考えるときは					
133 庫 10画	132 勝 12画	132 者 8画	132 悪 11画	132 注 8画	132 笛 11画
庫庫庫庫庫庫庫 コ (ク) 車庫 金庫	勝勝勝勝勝勝勝 シヨウ 勝負 かつ しあいにつ勝つ (まさる)	者者者者者者者 シャ 筆者 作者 もの 悪者 人気者	悪悪悪悪悪悪悪 アク (オ) 悪人 悪用 わるい 悪者にされる	注注注注注注注 チュウ そぞぐ 注意 注文 お茶を注ぐ	笛笛笛笛笛笛笛 テキ ふえ 汽笛 草笛 口笛
薬薬薬薬薬薬薬 ヤク くすり 薬品 薬局 薬箱					

学習に用いる言葉

国語の学習で、よく使われる言葉です。
意味をたしかめて、学習に役立てましょう。

問い (問いの文)

せつめいする文章などで、これから書くかを、読み手に問かける形で表した文のこと。

55 ページ

段落

文章を組み立てている、事がらごとのないようのまとまり。はじめを一字下げて表す。

55 ページ

読むときは、それぞれの段落で何が書かれているのかを考えると、全体のないようがとらえやすい。書くときは、ないようごとに段落を分けると、読み手に分かりやすい。

引用

他の人の言葉や、本などに書かれていることを、自分の文章の中で使うこと。

- かぎ(「」)をつけるなどして、他とくべつする。
- 元の言葉や文を、そのままぬき出す。
- どこから引用したのかをしめす。

97 ページ

他の人の考えを引用することで、自分の話や文章のないうをおぎなうことができる。

出典

引用した言葉が書かれていた本やしりょうなどのこと。本の場合、①作者名、②題名、③出版社(発行所)名、④発行年、⑤書かれていたページをしめす。

97 ページ

出典のしめし方のれい

①使った本
山村花子「言葉のこと」ひかり書店
④二〇二三年、⑤五十四ページ

出典をしめしておくことで、読んだ人が、同じ本やしりょうなどをさがして読むことができる。

さくいん

その本の中にある言葉や物事がどのページにあるかを、五十音順などしてしめしてあるもの。

107 ページ

さくいんを使うと、知りたい事がらが書いてあるページをかんたんにさがすことができる。

連

一行空きなどを入れて区切られた、詩の中のそれぞれのまとまり。

119 ページ

一連ごとに様子をそうぞうしたり、連どうして使われている言葉をくらべたりすると、詩の全体がとらえやすい。

キャッチコピー

相手を引きつけるようにくふうされた、短い言葉。
ポスターや広告など、多くの人が見るものに、目を引くように使われている。

125 ページ

二年生までに学んだ言葉

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> あらすじ | <input type="checkbox"/> 場面 |
| <input type="checkbox"/> 組み立て | <input type="checkbox"/> 筆者 |
| <input type="checkbox"/> 作者 | <input type="checkbox"/> メモ |
| <input type="checkbox"/> しつもん | <input type="checkbox"/> 訳者 |
| <input type="checkbox"/> 題名 | <input type="checkbox"/> 話題 |
| <input type="checkbox"/> 登場人物 | |





言葉のたから箱

人物や出来事をせつめいするときや、自分の考えや気持ちを書いたり話したりするときに、役立てましょう。

人物を表す言葉

物や事がらの様子を表す言葉

すなお

温かい

ねばり強い

気が長い

気が短い

気が小さい

おくびよう

弱気

強気

陽気

生き生きとした

はげしい

のどか

なごやか

広々とした

ひっそりとした

分かりやすい

分かりにくい

身近

親しみがあ

見事

がっしり

人なつこい

あやしい

気持ちを表す言葉

さわやか

ゆかい

めでたい

てれる

なつかしい

心にのこる

心が動く

心にしみる

心細い

心がおどる

ゆめのよう

運がいい

なやむ

感動

かんしや

そわそわする

うずうずする

落ち着かない

すねる

かつとなる

いかり

ふきげん

いらいらする

こうふん

つらい

感心

国語辞典を使う

よく分からない言葉や気になる言葉を、国語辞典で調べてみましょう。

意味や使い方が分かるだけでなく、にた意味の言葉や、反対の意味の言葉も見つかりますよ。

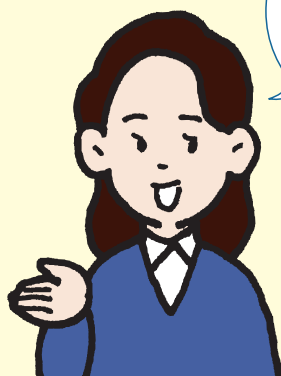
陽気

ようき【陽気】①「形動」① 朗らかなようす。にぎやかで明るいようす。例 陽気な人／陽気におどる。② 気候。例 春らしい陽気になる。

明るい 陰気

言葉の上にあるしの使い方を、くふうしてみよう。

これまでに学んだ言葉を見る。

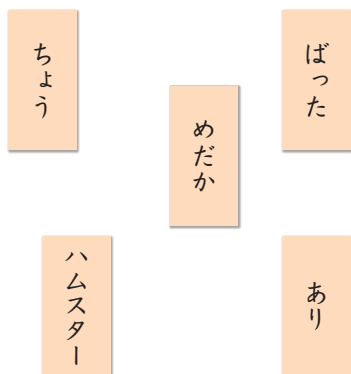


分ける

たくさんの物事は、いくつかのまとまりに分けると、整理することができます。

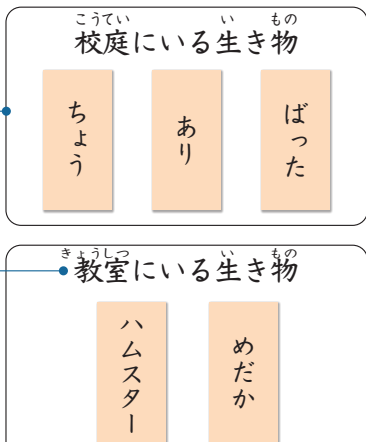
○ふせんやカードに書き出す

学校にいる生き物



○まとまりごとに分ける

学校にいる生き物



まとまりごとにわけてかこむ
まとまりごとの名前

ふせんやカードを使うと、かんたんに動かせるね。

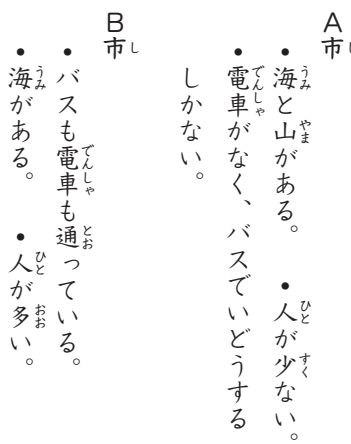


くらべる

表に整理すると、物事のどくちやうがくらべやすくなります。

○どくちやうを書き出す

あそびに行くなら、A市かB市か。



○くらべる点を決めて、表にする

あそびに行くなら、A市かB市か。

交通	人	しぜん	
バス	少ない	山と海	A市
バス	多い	海	B市

どんな点をくらべるか
くらべる物事

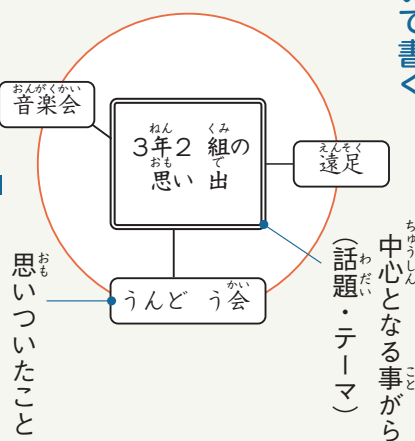
表にすると、同じところとちがうところが分かりやすくなるな。



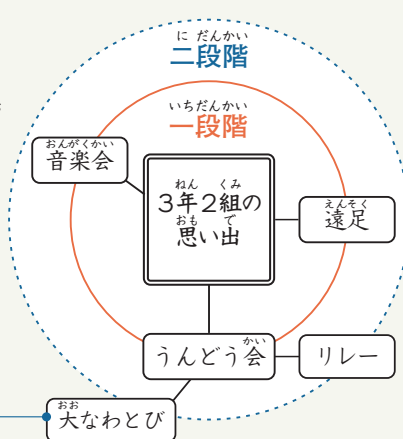
広げる

中心となる事から、思いついたことをつなげて書くと、考えを広げやすくなります。

○真ん中に中心となる事を書き、思いついたことを線でつないで書く



○一段階目(一)に書いたことから思いついたことを、さらに線でつないで書く



さらに思いついたこと
(二段階目より、くわしいこと)

一段階、二段階と、順にくわしいことを書いていくんだね。

